

# ANNUAL REPORT

事業報告書2025-2026



社会福祉法人 三好会

# わたくしたちは地域に開かれた 地域に愛される地域に信頼される こうほうえんをめざします。

## 法人概要 Corporate profile

事業内容	第一種・第二種社会福祉事業	経常収入	143億300万円(2025年度)
設立	1986(昭和61)年6月	事業	事業所数 126ヶ所(鳥取県、東京都)
代表者	理事長 廣江 晃	実施サービス	220(介護・高齢者事業180、保育事業13、障がい福祉事業22、医療事業5)
職員数	2,315名(2026年3月31日現在)		

## 方針 Policy

01

### 基本方針

わたくしたちはサービス業のプロとして正しい情報を伝達し自分が受けたい保健、医療、福祉サービスの提供・改善に努めます。

02

### 基本方針(保育)

わたくしたちは子どもと同じ視点で等しくかわりいつでも安心して利用できる保育サービスの提供、改善に努めます。

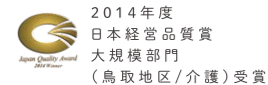
03

### 診療方針(錦海リハビリテーション病院)

わたくしたちは回復的リハビリテーション医療と地域連携を通して患者さんの社会参加を支援します。



ユマニチュード®で互いを尊重  
データに基づく確かな未来  
元気はつらつ こうほうえん



こうほうえんはISO9001-2015 (品質マネジメントシステムの国際規格)を認証取得しています



こうほうえんは社会福祉法人として初めておもてなし経営企業に認定されました



こうほうえんは社会福祉法人として初めてハイサービス日本300選に選定されました



## 変化の時代を見据え、 地域に寄り添い続ける

年初より、世界に異変が起きました。お屠蘇気分  
の抜けない1月3日には、ベネズエラのマドゥロ大統領  
が首都カラカスにおいて米軍に電撃的に身柄を確保  
されるという衝撃的なニュースが飛び込んできました。  
そして、その2か月後には、アメリカとイスラエルがイラン  
に戦争を始めました。原油の供給が制限される中、今年  
下半期の物資不足やエネルギー価格の高騰がとても  
気がかりです。

2025年度は、2024年に『ケアホームにしおおい』  
でブロンズ認証となったユマニチュード技法の本格  
的な取り組みを法人全体で開始しました。創始者  
であるイヴ・ジネスト氏を招き、東京で2回、鳥取で  
1回、合計500名以上の職員がユマニチュードの  
基本的な考え方を学びました。頭ではわかっ  
ていても、現場のケアではつい今までのやり方でやっ  
てしまいがちになりますが、きちんと実践すればケ  
アの質が上がり、間違いなく職員の負担も少なくなる  
ので継続して行っていきたいと思います。



2025年10月に特定技能枠で32名のグローバル  
人財の受け入れを行いました。介護士の養成校が  
減り、学卒の介護福祉士が少なくなる中、グロー  
バル人財は貴重な戦力です。ご利用者にも違和感  
なく受け入れてもらい、現場では欠かせない人財  
となっています。

2026年2月に角田病院長を大会長として、「回復  
期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会 in  
米子」を開催しました。『錦海リハビリテーション  
病院』が事務局となり、演題数833題、参加者2,020  
名の大規模な学会を無事大成功に終えることが  
できました。

2025年度より、一層の生産性向上のため、多  
くの施設で勤務内容のタイムスタディを行いました。  
現状では、各施設ユニットごとに直接介護の割合  
が違っていることに対する現状分析を行いつつ  
あります。タイムスタディの結果を、業務改善に結  
びつけている施設も出てきていますが、全体的には  
もう一歩二歩と工夫が必要な状況と思われます。

2026年も鳥取県内の社会福祉法人として唯一  
となる「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」  
に認定されました。年々スコアと順位は上がっ  
てきていますが、審査項目も難化してきています。  
事業継続していくために職員の健康は非常に重  
要な要素ですので、今後も改善活動を継続して  
いきたいと思います。

鳥取県の人口が51万人台になったというニュース  
がありました。地方の人口減少が今後加速度的に  
進む中、さまざまな分野で統合・縮小が行われ  
ると予想されます。そうした変化を先読みしなが  
ら、引き続き社会福祉法人としての地域課題解  
決に向けた取り組みを地道に進めていきたく  
思います。

理事長 廣江 晃



# 2025年度 トピックス 2025's Topics

## Topics 01 「回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会in米子」開催

### 回復期リハビリの原点に立ち返った2日間

2026年2月に米子市で開催された「回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会」。本大会の事務局を『錦海リハビリテーション病院』が務めました。

回復期リハビリの第一人者や厚生労働事務次官による講演をはじめ、医療・福祉を語るプログラム、833題の一般演題発表など、多彩な企画が行われました。医師、看護師、セラピスト、社会福祉士、栄養士など、全国各地から2,020名が参加し、会場は大きな熱気に包まれました。さらに、「ユマニチュード」創始者であるイヴ・ジネスト氏による特別講演も急遽開催され、多くの参加者が熱心に耳を傾けました。

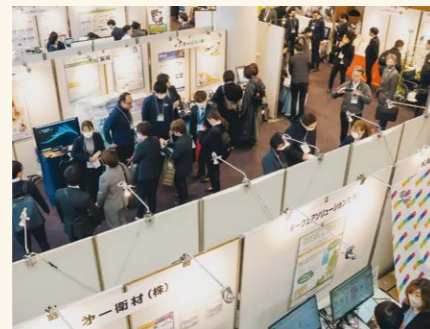
回復期リハビリテーションは、脳卒中や骨折などの急性期治療を終えた患者様が、再び住み慣れた地域でその人らしく暮らせるよう支援する重要な役割を担っています。大会長を務めた角田賢病院長は、「経営や診療報酬といった現実的な課題に向き合いながらも、本来目指すべき医療の方向性を再確認し、原点に立ち返る貴重な機会となりました」と振り返りました。

### “オールこうほうえん”として、おもてなしの心で大会運営を支える

大会運営では、職員全員が一つひとつの準備を自分たちの手で進め、大会づくりそのものを支えました。また、今大会では全体懇親会も復活。牛骨ラーメンやカニ汁など、鳥取ならではの食文化で全国からの参加者をもてなしました。さらに大会前年には、地域医療機関を巻き込んだプレ講演会を6回開催し、機運醸成だけでなく、地域全体の連携強化にもつながる取り組みとなりました。



会場では、全国から集まった2,000名を超える参加者をこうほうえん職員が応対



42社による企業ブースの展示と11件のランチョンセミナーを実施。安定した運営基盤につながりました



懇親会場を大いに盛り上げたこうほうえん職員による和太鼓演奏

## 回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会 in米子

大会テーマ：地域のなかの回復期、地域のための回復期

日程：2026年2月6日(金)・7日(土)

場所：米子コンベンションセンター BiG SHiP・米子市文化ホール

参加者：2,020名(全国各地より)

研究大会HP：  
<https://www.kinkai-rehab.jp/47kaifukuki-reha/>



研究大会HP

## Topics 02 ユマニチュード 全事業所への広まり

### 関わる人が幸せになる組織づくり

2024年2月、『ケアホーム西大井こうほうえん』は日本で5事業所目となるユマニチュードのブロンズ認証を受けました。この認証をきっかけに、こうほうえんでは法人全体に普及する取り組みが始まっています。

フランス発のコミュニケーション・ケア技法のユマニチュードでは、相手を一人の人間として尊重し、その自由を認め、出会いを喜び合う心地良い人間関係を重視します。相手の方との間合いや距離感、表情やしぐさを読み取ってコミュニケーションを取ることを大切に、心の絆が深まることで、ケアを受ける人は「自分は大切にされている」と安心感を得ることができるのです。

『ケアホーム西大井』では、ユマニチュードの教育と実践に取り組み、職員全員が研修を月2回受講し、学んだことを日常のケアに落とし込んでいます。組織として継続して教育を受け、浸透させることで、仕事に楽しさと誇りを持てるようになり、離職も減ることにつながりました。



穏やかでやさしい声のトーンで、出会いの喜びを表現する



居心地が良くやさしさと笑顔があふれる



相手の方と同じ目の高さで視線を合わせる「見る」技術

### ユマニチュードインターン研修

『ケアホーム西大井』の成果を受けて、全エリアの事業所ごとにユマニチュード推進チームを組織しました。各エリアから毎月3~4名ずつ職員を順番に『ケアホーム西大井』に派遣して3日間の実技研修を実施。実際のケアを間近で見て学び、各勤務地に持ち帰って実践・普及しています。

### イヴ・ジネスト氏、優しさ伝える技術を講演

2026年2月7日、ユマニチュードの創始者であるイヴ・ジネスト氏が、『アザレアコートこうほうえん』で講演を行いました。保育・介護現場の職員に向けてユマニチュードの理念を伝えました。「ご利用者と向き合う中で、うまくいかないことは必ずある。しかし

解決策は必ず見つかる。重要なのは最善を尽くす姿勢です」と、現場の職員を励まし、さらに「ケアする人と受ける人の間に良い関係があれば、相手から愛情が戻ってくる」と語り、相互尊重の関係がケアの質を高めるというユマニチュードの核心部分を伝えていただきました。ジネスト氏の一連の講演は、“技術としての優しさ”の重要性を多くの参加者に再認識させ、医療・介護、そして保育の現場に向けても新たな気づきと勇気をもたらす貴重な機会となりました。



(右)イヴ・ジネスト氏

# 2025年度 トピックス 2025's Topics



【看取り部門B】石井美優 介護士(うきま特養)の実技場面

## 第15回オールジャパンケアコンテスト

大会テーマ:介護の質の向上と地域との繋がりを目指して

日程:2025年10月4日(土)

場所:東京ビッグサイト西3ホール(東京都江東区有明)

主管:社会福祉法人こうほうえん、公益社団法人日本介護福祉士会、SOMPOケア株式会社、株式会社やさしい手、東京ロイヤル株式会社、社会福祉法人長岡福祉協会

HP:<https://ajcc.info/>



公式HP

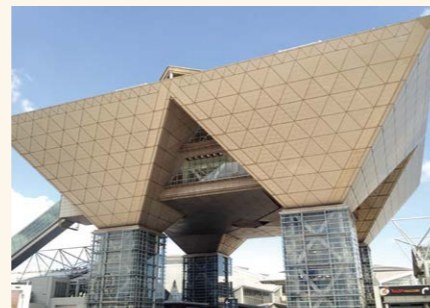


Instagram

## Topics 03 「第15回オールジャパンケアコンテスト」開催

### 15回目を迎えた実技コンテスト

「オールジャパンケアコンテスト」は、“家族、地域とそれぞれの密接なつながり「絆」を大切に”を理念に2010年から始まり、15回目を迎えました。全国から集まった選手の皆さん(介護従事者)、地域の方、介護サービスご利用者やそのご家族など介護に携わる方々と一緒に、これまでの介護を見つめ直し、これからの介護を考え実践する機会を提供することを目的としています。



会場の東京ビッグサイト

### 親睦を深めた前夜祭

大会前日には前夜祭を『東京ベイ有明ワシントンホテル』にて開催。オリエンテーションを兼ねて、参加される選手の皆さんが分野ごとに分かれ、アドバイザーの先生方と一緒に食事をとりながら親睦を深めました。

### 昨年を上回る過去最多の参加者

コンテスト当日には、全国から多くの選手、関係者、一般来場者など約1,000名が集まり、会場は終始熱気に包まれていました。会場での実技部門では、147名の選手が「認知症」「看取り」「食事」「入浴」「排泄」「口腔ケア」「外国人介護職員」の7分野に分かれ、それぞれの課題に応じた介護技能を披露しました。実技には専門のアドバイザーが助言・評価を行い、技術向上の機会となりました。また、動画投稿部門では、介護福祉士等の養成校の学生を対象に実施され、全国から高校の部4校(17名)、養成校の部4校(18名)による投稿がありました。大会当日は休日だったことで一般の来場もあり、前年以上に選手の皆さんの情熱と観客の皆さんの声援を大きく感じられた大会になりました。



『東京ベイ有明ワシントンホテル』での前夜祭



表彰式



集合写真

## Topics 04 「ベーカリーカフェ ブレッド&バター」リニューアルオープン

### A型事業所の手づくりパンの店が大規模改修

東京都北区『うきま幸朋苑』の2階にある就労継続支援A型のベーカリーカフェ『ブレッド&バター』は、約3か月の大規模改修を経て、2026年1月19日にリニューアルオープンしました。今回の改修では、販売スペースの壁を取り除き、厨房・調理室を拡張。オープン3段に、発酵機は1台増えました。調理室をガラス張りにしたことで、店内からフレンズさんが作業する様子を眺めることができます。

就労継続支援A型事業所は、「福祉」として質の高い支援の提供と、「企業」としての売り上げや生産性の両方が求められています。それでも、素材と味にこだわり、営業努力を重ねて地域から親しまれる場所へと成長しました。ドッグランやベビーベッドもあり、犬好きの人、赤ちゃん連れの人などあらゆる人に対応できる店づくりを行っています。



ハード系パンや調理パンなど、おいしさや素材にこだわった種類豊富なラインナップ



手際よくパンを仕込んでいくフレンズの皆さん。それぞれの個性や得意分野を生かして仕事に取り組んでいます

## Topics 05 「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」に認定されました

### 鳥取県内の社会福祉法人として唯一認定

『社会福祉法人こうほうえん』は、経済産業省が推進する健康経営優良法人認定制度に申請し、昨年に引き続き、優良な健康経営を実践している法人を表彰する「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」に認定されました。この制度は、従業員の健康保持・増進に戦略的に取り組む優良法人を国が評価・可視化するものです。今年度は、全国で大規模法人部門3,765法人が認定され、鳥取県内の認定企業は、大規模法人部門は7法人です。県内の医療法人、社会福祉法人では唯一の認定法人となります。健康経営の重点的な推進項目のひとつが「運動推進」です。株式会社ONE COMPATHが主催する「1Day3000ソーシャルウォーク」に参加し、期間中は、職員それぞれが1日3,000歩を毎日達成する事を目指しました。

### 「こうほうえん 健康経営宣言」

こうほうえんは、職員とその家族の心身の健康がもつとも重要であると考え、健康保持・増進活動に対して積極的な支援と組織的な健康づくりの推進に取り組みます。また、利用者、地域住民と力を合わせ、健康で活力にあふれる「地域共生社会」の実現を目指します。

2022年4月1日

社会福祉法人 とうほうえん



## 第30回こうほうえん研究発表:



# 2025年度 トピックス 2025's Topics

## Topics 06 「第30回こうほうえん研究発表会」開催

### 30回目の節目を迎えた研究発表会

職員が1年間にわたり調査・研究してきた成果を発表し、互いに研鑽し合える場となっている「こうほうえん研究発表会」。2026年は、3月28日(土)に第30回を開催し、法人内外から多くの皆様にご参加いただきました。30回目という節目を迎えた本研究発表会は、会場参加に加え、オンライン参加が可能なハイブリッド形式で開催しました。本年度の発表は全体で84題。その中から、優秀賞5組、特別賞1組、奨励賞10組が選ばれました。外部からは、特別講演として松原由美教授(早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部)をお迎えしたほか、『社会福祉法人長岡福祉会』『成光苑』『養和会』『建昌福祉会』『NTT PARAVITA』の皆様にもご参加いただきました。



優秀賞を受賞された皆さん



ロビーでは30回分の歴史を展示

## Topics 07 「第6回四川国際養老サービス業及び養老産業博覧会」出展&「四川省介護高級公開セミナー」開催

### 『四川省養老服务中心・天易養老』と共同でブースを出展

2025年5月25日～5日間、四川省成都市で「標記博覧会」が開催されました。2024年11月に『四川省養老服务中心・蘇州天易養老発展有限公司』との三方合意締結以降、初めての合作プロジェクトであり、大会の成功のため、日本展示ブースへの参加依頼、調整、出展支援等を行いました。こうほうえんも『四川省養老服务中心・天易養老』と共同でブースを出展しました。また、基調講演や介護の展示のために、廣江研会長ほか3名の職員が参加しました。多くの方に日本の介護技術や福祉用具、人材育成に興味を持っていただき、活発な交流が行われました。



廣江研会長による基調講演



オンラインで講師を務めた、上田紀行 主任介護福祉士と沼上久美子 介護福祉士

### 四川省介護高級公開セミナー開催

5月27日の午後には、標記研修会を開催。『四川省養老服务中心』よりオンライン発信で介護の実演を行いました。1回目は動作ごとに解説しながら実施、2回目は解説なしで実施し、質疑応答を経て、日本の介護の理念を紹介しました。最終的には、5,600人余りが参加、6万良いね!をいただきました。日本の介護に興味を持ってもらう良い機会だったとともに、日常的に行っている介護の一つひとつ言語化し説明すること、中国側からの質問に回答することなどで、改めて自分たちの行っている介護を振り返るいい経験になりました。



ワークショップの様子

## Topics 08 保育ニュージールランド研修

### 鳥取・東京の全保育園から12名の保育士と引率者1名、合計13名が参加

2025年5月5日～12日、コロナが明けて初めての海外研修を保育・幼児教育研修ツアー、ニュージールランド研修として実施。西東京エリアの米芳久総合施設長をリーダーに総勢13名が参加しました。『クライストチャーチ工科大学』で、ニュージールランド教育システム(テファリキ)について、大学の先生から直接講義していただいたほか、2日間にわたって4か所の幼児・教育施設(公立小中学校、幼稚園、モンテッソーリスクール、プライベートセンター)を見学し、現場での実践状況を聞きました。世界の幼児教育で高く評価されている革新的なカリキュラムである「テファリキ」を、現地で直接に多くの方から学び取ることができた貴重な機会となりました。



幼児教育施設での保育のひとつ

## Topics 09 ICTの整備活用進む

### 「SmartHR」の運用開始

職員の業務負担軽減と生産性向上につなげるため、2025年度も引き続きICTの整備・活用を進めました。新たに人事・労務管理システム「SmartHR」の運用を開始し、各種申請や勤怠・給与関連手続きのオンライン化を推進。スマートフォンから手続きが完結できる環境を整備することで、業務時間の削減とペーパーレス化を実現しました。



## Topics 10 「第11回全国大会 in 福岡」でノーリフト推進委員会が演題発表

### ノーリフティング推進委員会10年の成果を発表

2025年11月17日、全国ノーリフティング推進協会主催の「第11回全国大会 in 福岡」で、こうほうえんのノーリフト推進委員会が「ノーリフティングが変える職場環境～負担軽減からケアの質向上まで～」をテーマに演題発表を行いました。発表したのは、野坂賢一主任(さかい特養)、池田真大主任(なんぶ特養)、持吉孝郎係長(うきま特養)の3名です。ノーリフト推進委員会は、ケアの質向上と働きやすい職場環境づくりを目的に発足。移乗支援における介護事故や労災の軽減、福祉用具の適切な活用に取り組み、10年目の節目を迎えました。発表では、これまでの成果と課題を報告。当初は道具や環境、技術面など多くの課題がありましたが、各エリアでの研修や環境整備、技術向上への取り組みを積み重ね、着実に成果へとつなげてきました。今後も、職員が健康に働き続けられる環境づくりと、抱え上げない介護の実現を目指して取り組んでいきます。



発表の様子

(2025年～2027年)

# 第7次中期目標

中期目標の実践を通して、互恵互助、SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)の推進に貢献していきます。



※月間目標 4月:あいさつ月間、5月:安全月間、6月・12月:環境月間、7月:事故防止月間、8月・2月:省エネ月間、9月:生活改善月間、10月・3月:防災月間、11月:品質月間、1月:おもてなし月間

※誌面で使用するオレンジの文字 2025年度の重点項目

具体的な目標	数値目標
--------	------

## I ユマニチュードによるお互いを尊重する組織文化づくり



### 1 ユマニチュードを基調とした対人スキルの向上

①ユマニチュードが目指す「よいケア・よい生活の場」の実現に向けたケアの習得	●外部・内部講師によるユマニチュード研修の実施と受講率
②不適切と思われるケアや保育を相互に指摘しあえる環境の整備	●虐待チェックリストの回答率100%
③ご利用者・職員・経営者がお互いに尊重しあう生活労働環境の醸成	●互恵互助の読み合わせ・意見交換の回数増

### 2 「困ったらこうぼうえん」と評価されるためのサービスの質の向上

①ご利用者・ご家族から選ばれる品質を確保したサービスの提供	●ISOマニュアルなどの基準の再統一と動画を活用した確認チェック体制の構築 ●CSアンケート総合満足度対前年2%改善
②インクルーシブ保育を意識した発達支援の知識向上と研修の実施	●発達支援の内部・外部研修の実施率80%/参加率80%

### 3 お互いを尊重しあい、課題を解決する組織づくり

①苦情やご意見を横断的に分析し、サービス向上に活かす仕組みづくり	●監査指摘事項、苦情、ご意見のデータベースの構築
②情報共有しやすい環境の整備と会議体の効率的・効果的な管理	●参加委員の委員会兼務数3以下 ●各委員会の目標達成率80%

## II 持続可能な福祉社会の礎を築くための人財育成



### 1 ワークライフバランスを確保し、安心して長く働ける職場環境(文化)づくり

①多様な採用チャネルを利用した幅広い人財の確保	●法人OBやアルバイト・副業など多様なチャネルからの採用実績前年比増 ●職員紹介制度の増
②グローバル人財を意識した教育環境と多様な働き方の構築	●特定技能職員等の定着率 ●夜勤の実施回数
③新人事制度の安定的な運用と公平性を担保したルールの確立	●限定正規職員の離職率の減
④能力や役割に応じたキャリアパスの構築と変化に対応できる職員の育成による真のES向上	●育成を重視した人事異動/異動先での不安を解消するためのジョブローテーションやインターンシップの実施 ●職員が自らの選択で目指していくことが可能なキャリアパスの構築 ●ESの総合満足度の向上

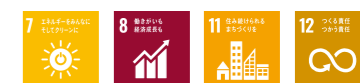
### 2 働きやすさと健康経営を意識した生産性の向上

①ICTやAIを活用した全事業での生産性の向上	●メルタス等を活用した利用者情報の共有/リアルタイム記録更新率80% ●AIを活用した議事録の自動作成ツール等の活用 ●各種文書、議事録等の作成時間の減/超過勤務時間の減 ●苦手意識を作らないためのデジタルリテラシー向上支援 ●スキルアップ研修の実施/参加率
②必要以上の支援の見直しと平準的な職員配置の確立	●疲労を翌日に持ち越さず、活力に満ちた状態で仕事に臨める働き方の構築 ●ES該当設問満足度の向上 ●性差に関係なく育児休業が取得しやすい勤務体制の構築 ●男性の育児休業取得率50% ●人にしかできない業務の特定と文書化/自動化可能業務比率の最適化

### 3 互恵互助を体現できる次世代の育成を見据えた教育体制の充実

①職員が採用からフルタイムシフトに対応できるまでの平準化と明確化	●新規・中途採用者の全シフト対応までの期間
②先を見据えた事業展開を意識した資格取得支援	●ケアマネジャー、児童発達支援管理責任者研修ほか修了者数の増
③ご利用者・職員に対して的確な判断と指導ができる管理者の育成	●カスタマーハラスメント対応体制の整備と明確化 ●リーダーシップスキル向上研修等の受講率

## III 実証的な数値分析に基づく強固な経営基盤の構築



### 1 安定した法人運営を実現するための収益構造の強化

①数字を読める管理職の育成データ分析スキルの向上と理解しやすい管理会計の導入	●データアクセシビリティの強化/データプロセスの所要時間の減 ●BIツールの導入試行
②適切な経営指標の設定と明確化	●安定した法人運営実現するための収支差額の確保 ●サービス活動増減差額3%以上
③事務業務の統合とICT・AIを活用した事務部門の強化	●定型業務自動化の数の増/超過勤務時間の減

### 2 次世代に向けた中長期の施設改修と資金計画

①建物の耐用年数を見越した修繕計画の作成と補助制度の確認	●改修・修繕に関するガイドラインの策定/計画に向けた図面等の整備
②既存事業の適切な転換・見直しと統廃合	●事業の役割の明確化と効果的な資源配分/転換事業数・転換後の収支差増

## IV 長期的な視野による地域福祉の発展



### 1 職員が誇りに思える社会の介護力・子育て力向上のための地域貢献と情報発信活動

①地域の高齢者・子どもの交流の場の拡充と人的・知的資産の提供	●子ども食堂をはじめとする公益的な取り組みの安定的・継続的運営 ●参加者数の増 ●地域公益事業の新しい取り組みへのチャレンジの数 ●AJCCの継続的発展と職能団体との連携/参加法人数、連携団体数の増
②介護・保育・医療の社会的価値を高め、地域の福祉向上に繋がる広報活動	●受け手の理解と反応を重視した効果的な情報発信の実施 ●ご利用者家族からのフィードバック数 ●SNSでの好意的な反応、コメントの数

### 2 法人設立40周年記念事業と新規事業の展開

①40周年記念事業の実施と地域への理解	●計画の策定と実施
②品川区小山台住宅跡地施設の計画的準備と対応	●開設に向けたロードマップの作成と準備室対応 ●開設時想定稼働率

# 法人本部の取り組み

Efforts of Corporate Headquarters



社会福祉法人  
こうほうえん  
(採用・求人)  
Instagram



こうほうえん  
東京事業本部  
Instagram

## 総務部の活動実績

01 理事会・評議員会の開催<総務課> 理事会12回、評議員会3回

02 業務改善の状況<総務課>

●「SmartHRストラテジープラン」を導入 労務管理・タレントマネジメント・データベース・職員ポータル・文書配付の試行を開始しました。

03 所轄庁の指導監査(運営指導)実績<法務課>

●受検数:41事業所 ●指摘・指導等の中で、改善報告を求められる指摘を受けた件数:14先・58件

※2024年度から19件増加。東京エリアにおける、介護保険施設運営指導21件増が主な増加要因。受検事業所の37%(前年度29%)は「指摘・指導等がない」と適正評価を受けている一方で、事業所間の業務レベル格差が広がっています。単なる指導等の情報共有に止まらず、職員のレベル底上げに繋がる仕組みづくりへの取り組みが急がれます。

04 法人内の法令遵守監査実績<法務課>

2025年度は当初予定していた10事業所(うち東京エリア4事業所)を実施し、現在の手法を導入した2020年度から通算58事業所の実査を完了しました。  
※結果については、小項目別にABCDの4段階で評価。事業所に自主改善を求めるC評価の項目は業務リスク管理(リスク管理態勢)で多見されました。事業所に改善を求める評価(C・D)の指摘事項 27件/業務監査:10事業所23件(うちC評価23件、D評価0件)、会計監査:3事業所4件(うちC評価4件、D評価0件)

05 法令遵守責任者の活動状況<法務課>

- 1 法令遵守監査の実施及び各種監査の窓口対応
- 2 規程等の制定・改定並びに局長通知等の解釈の整理「身体拘束適正化に関する指針」の改定(2025年7月1日施行)、私立保育所の委託費等の弾力的運用等について(経理等通知の解釈)
- 3 異動等による法令遵守管理者の名簿を更新し、情報共有の活性化を図りました。
- 4 職務審査委員会等の事務局並びに関連事案の事実確認面接を行いました。
- 5 法人主催の内部研修の中で、指導職以上を対象に法務関連研修を実施しました。
- 6 コンプライアスマニュアル等の本部窓口対応

## 研修人財部の活動状況

01 総括

- 1 ユマニチュード全事業所への展開 ユマニチュード展開を進めるため、ブロンズ認証取得施設『にしおおい』でのインターン研修を実施。4日間のカリキュラムで8回、計33名が参加し、各エリアへの展開中心者として活動しています。
- 2 中国 四川省養老博覧会参加 こうほうえんからは廣江研会長はじめ4名が参加、介護士の介護技術のデモンストレーションを実施。日本企業からもパラマウントベッド、カワムラサイクルなど多数の企業が参加しました。
- 3 職員旅行施行 新型コロナウイルス感染症5類移行後、昨年までの制限付き職員旅行を経て、従前の職員旅行体制で実施しました。東京2コース、関西、沖縄、韓国、台湾の計6コース。
- 4 グローバル人財定着サポート 特定技能外国人介護士受け入れ人数増加に伴い、4半期に1回交流会を実施。日本の風土、食文化理解から各国の食の紹介等、共通認識、理解できる機会を創設しました。
- 5 鳥取県介護人材育成事業者認証 介護職員の育成や働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる事業者として3年間の更新認証を受けました。

02 2025年度 教育研修実績

1 2025年度教育研修実績

●第30回こうほうえん法人研究発表会 2026年3月28日(土)参加者は、会場236人、外部20人、ZOOM接続379接続でした。

※優秀賞5題、特別賞(参加者の「いいね!」投票の最多得票)1題、奨励賞11題 ●内部研修 本部主催の内部研修の参加者は、1,667人+動画視聴者でした。

※中途採用者研修16回、キャリアパス研修2回、指導者管理者・トピック研修14回、階層別研修4回

●外部研修 外部団体が主催する47研修に342名が参加しました。 ●海外研修 保育ニュージーランド研修 保育・幼児教育研修として、ニュージーランド視察研修を実施。13名が参加しました。

2 第15回オールジャパンケアコンテスト(AJCC)実施内容

●開催日:2025年10月4日(土) ●場所:東京ビッグサイト 西3ホール ●選手総数:148名(エントリー174名) ※過去最大

●開催分野:「認知症」「食事」「入浴」「排泄」「看取り」「口腔ケア」「外国人介護職員」

●動画投稿:介護福祉士養成校8校/35名※こうほうえんからは「食事」「排泄」「看取り」「外国人介護職員」分野に5名が参加しました。

03 2025年度 受託研修実績

1 介護職員初任者研修 及び 介護福祉士実務者研修科 実績 定員40名に対して入校者21名、修了者19名で、そのうち法人内就職者は8名でした(就職実績等は2026年5月1日時点)。

2 介護職員等に対して行う喀痰吸引研修事業 介護職員等に対して行う喀痰吸引第一号・第二号基本研修(※講義はオンライン)及び実地研修、介護職員等に対して行う喀痰吸引第三号指導者養成研修及び基本研修と実地研修を実施しました。

04 2025年度 登録教育機関研修実績

1 地域向け初任者研修(米子商工会議所共催)(補助金対象事業)

●受講者:7名

2 介護福祉士実務者研修 通信課程(受講生補助金対象事業)

●受講者:20名

3 介護職員第二号喀痰吸引研修実績

<基本研修>●受講者:11名 <実地研修>●受講者:10名

05 外部評価受審

●評価機関:各事業所運営推進委員会

●受審事業所:グループホーム7事業所、小規模多機能8事業所、認知症デイサービス2事業所、定期巡回随時対応型訪問介護看護2事業所

06 第三者評価

●評価機関:NPO法人メアアイヘルプユー、パブリックサービスR&C合同会社 ●受審事業所:5事業所

07 人財状況

●職員数(2026年3月31日現在) [単位:人]

エリア	雇用形態		合計
	正規雇用	非正規雇用	
さかい	278	142	420
よなご	245	125	370
なんぶ	254	108	362
いなば	276	97	373
錦海	115	13	128
北東京	195	121	316
西東京	123	46	169
南東京	93	51	144
法人本部	23	10	33
計	1,602	713	2,315

※)非正規雇用には嘱託再雇用職員含む

●離職率

計算方式	鳥取	東京	本部	全体
①	8.2%	13.7%	12.1%	9.7%
②	7.6%	12.4%	11.1%	9.0%

①介護労働実態調査方式:4月2日~3月31日離職者÷4月1日職員数

②中途採用者反映方式:4月2日~3月31日離職者÷

(4月1日職員数+4月2日~3月31日採用者数)

●2026年4月新規採用者数 [単位:人]

職種	鳥取	東京	合計
介護士	6	14	20
保育士	3	8	11
看護師	1	0	1
作業療法士	1	0	1
理学療法士	1	0	1
計	12	22	34

●男女賃金差(平均年収) [単位:円]

雇用形態	女性	男性	割合
正規職員	3,941,787	4,666,704	84.5%
非正規職員	1,921,866	1,894,385	101.5%
全職員	3,232,759	4,091,468	79.0%

●平均年齢 [単位:歳]

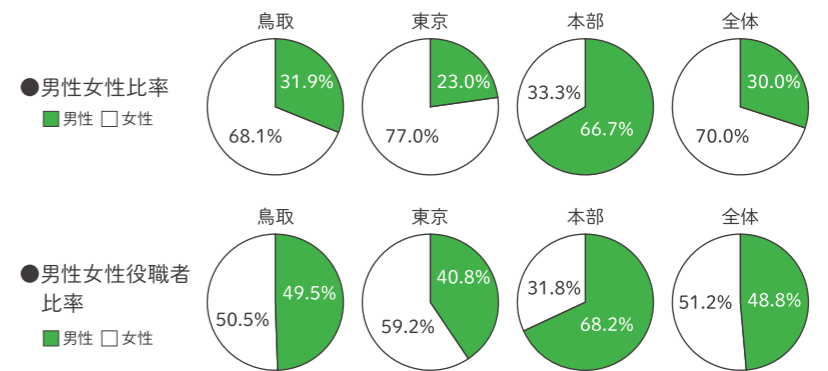
鳥取	東京	本部	全体
47.8	42.5	55.8	46.5

●役職者数 [単位:人]

鳥取	東京	本部	全体
188	71	22	281

平均基本給は女性の方が高いが、以下3点から年収は男性の方が高い結果となった

- 1. 経営職(役員、施設長級)に男性が多い
- 2. 扶養手当、住居手当が男性の方が多い
- 3. 時間外手当、夜勤手当が男性の方が多い(保育士の多くは女性であり夜勤手当が無い)



## 健康対策室の活動状況

01 職員のメンタルヘルス対策

●職員のストレスチェック、個人のストレス診断・集団分析を実施 ストレスチェックの受検率64%、高ストレス者の割合11%

●毎月、各エリアのメンタル不調者を把握し支援 2025年度は指導者管理者を対象とした、養和病院メンタルヘルsteamによるWRAP等を集合研修で実施しました。養和病院・平成医会による外部相談窓口による利用状況は9名でした。

02 感染症対策

新型コロナウイルスをはじめ感染症について、看護師会と協力し、必要な情報発信・助言を行いました。

03 健康経営を目指した取り組み

●定期健診受診率 100% ●生活習慣病予防健診の推奨 2025年度受診者167名(前年度比13%増 ※鳥取県内)

●協会けんぽへの健診データ提出 保健指導の受診対象者は52名。勤務時間内に実施することで、受診予定者は96%に達しました。

●禁煙の取り組み 勤務時間内の全面禁煙を実施したが、喫煙率の減少は見られませんでした。そのため、喫煙者へのアプローチとして、希望者を対象に医師による集団禁煙指導を実施するとともに、禁煙ガムの配布を行い、禁煙への取り組みを支援しました。

## 経営企画部の活動状況



こうほうえん  
季刊誌

### 01 収支及び業務改善に繋がるプロジェクトの稼働

- ICT 介護記録、ナースコール、見守りセンサー、インカムの連動導入調整
- タイムスタディ調査に係る端末活用支援 ●ICT基礎教育の推進、ワイズマンASPフォローアップセミナーの開催
- 保育システム(コドモン)、成長療育支援システム(HUG)の活用支援
- AI議事録作成システム(noman)導入促進、生産性向上に係る調査協力 ●品川区小山台複合施設開設準備に係ること
- フレイル対策 米子市フレイル事業に関する法人内活動の推進

### 02 経営品質向上活動

- 社会福祉懇談会 第11期次世代リーダー経営品質向上活動勉強会(全5回)に参加
- 社会福祉懇談会 共通職員意識調査・利用者満足度調査対応

### 03 各種補助金申請

- 鳥取県：地域医療介護総合確保基金、鳥取県介護分野ICT導入支援事業、鳥取県介護テクノロジー定着支援事業
- 東京都：デジタル機器導入促進支援事業等活用導入支援 ●共通：人材確保・環境改善等事業

### 04 健康経営認証の取得(職員の健康維持とワークライフバランス)

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」に継続認定



### 05 各種制度改正による変更等申請対応

- G-BizIDの早期対応と介護情報基盤、ケアプランデータ連携登録、活用促進
- 中山間地等の訪問介護事業所加算の弾力的運用にかかわる申請支援と早期加算取得

### 06 その他導入支援

- 法人HP改修 ●SNSの活用：事業所によるSNSの活用支援、情報の配信、メディア配信実績向上
- PC更新：法人内管理PCの更新調整 ●アルコールチェッカー更新調整

## 東京事業本部の活動状況

### 01 新卒採用活動

- 延べ221名の学生との面談 主に6月までの前半戦は福祉系学生にターゲットを絞った介護職、7月以降の後半戦は保育職と、注力分野と期間を分けて採用活動を実施。本部主催施設見学会46回開催、外部就職イベント5回出展、学内就職説明会5回参加のほか、実習生へのアプローチを通年で実施。学校訪問なども積極的に行いました。
- 2026年4月の新卒採用者数 介護職12名、保育職10名。介護職12名の内、10名が介護福祉士、2名が社会福祉士、3名が実習生で、質の高い学生を獲得することができました。
- 次年度以降の採用対策 ナビサイト数を増やし、早期のインターンシップ受け入れを強化。実習生の受け入れ・入職の促進、職員紹介の促進も行っています。採用関連ホームページをさらに見やすくビジュアルな形に改善していきます。
- 外国人留学生へのサポート 複数の介護養成校と連携し、外国人留学生6名に対し東京都の奨学金に関する連帯保証を行うことにしました。
- 中途採用者の募集 無料求人サイト、成功報酬型求人サイトに各事業所を登録。採用代行会社も起用し中途採用者を広く募集。各事業所や保育園の介護士、保育士の急な不足に対してタイムリーにサポートしました。

### 02 研修

- ユマニチュード研修 介護向けのケア技法ユマニチュードを保育へも浸透すべく、東京地区にて8月と11月の2回にわたり、創始者のイヴ・ジネスト氏を招き、保育士を中心とした全体研修を実施。各回とも100名近くの職員(介護職員含む)が研修を受講し、ユマニチュードについて学びました。
- 介護職員交流研修 中堅介護職員7名を対象に、他事業所での就業体験を実施。12月に集合研修を開催しベストプラクティスを相互に共有、受け入れ側指導者も参加し意見交換、グループ討議を実施、実りの多い研修となりました。
- 新入職員フォローアップ 入職直後の介護職員技術研修、入職3か月後研修、事業所による6か月後個別面談、年度末研修など、新入職員に対するきめ細かなフォローを行い、定着を図りました。
- 公開研修 各事業所で個別に実施している研修を、他事業所でもリアルタイムで受講できるよう、オンライン配信を行いました。
- メンタルクリニック 東京地区で契約しているメンタルクリニック『平成医会』による管理者向けカウンセリング相談会、新入職員向け研修の中でのプログラムを実施しました。

### 03 地域における公益的な取り組み

- 東京地区地域における公益的な取り組み委員会 隔月一回定例会を開催し、各事業所・保育園の取り組みの情報とベストプラクティスの共有を行い、新たな展開について議論しました。
- うきまの子ども食堂、西大井の誰でも食堂、向原のかけはしカフェ、新砂の高齢者の居場所作り、ブレッドアンドバターのお昼ご飯応援プロジェクト、各保育園での子育て支援など、地域における公益的な取り組みが定着。うきまでは新たに認知症カフェのプレ開催を実施しました。

### 04 新規事業

- 品川区小山台住宅等跡地における福祉施設等整備計画(特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護等)品川区より指定管理者候補者(予定者)として選定された同計画につき、品川区と連携しながら推進中。
- 一般社団法人社会福祉懇談会 10月より『一般社団法人社会福祉懇談会』の事務局を引き継ぎ、11月、2月に省庁等の講師を招いたセミナー、介護・保育・障がい・経営品質・未来経営に関する委員会等を開催しました。

# 2025年のメディア実績 2025 Media performance

## 雑誌(月刊介護保険、投稿等) 全30件

- 回復期リハビリテーション病棟協会機関誌 2025年4月号 Be ambitious! 学んで前へ ～24年度同時改定を力に変えるために～ 第45回研究大会in札幌<執筆>錦海リハビリテーション病院:角田賢 病院長
- カムカムママ 7.8月 Vol.081 親の焦りと子どもの育ち <登場>ことばとこころの支援室にしまち:森田愛 課長
- 東京都認知症施策推進計画 2025年3月号 ユマニチュードの取組みについて <登場>ケアホーム西大井こうほうえん:田中とも江 施設長
- 日経ヘルスケア 2025年8月号 対応必須!ケアプランデータ連携 <登場>ケアプランセンターさかい幸朋苑:北島奈美子 係長
- 激流 2025年8月号 ローソン創業50周年”マチのハッピー大作戦” #003. 食品ロス削減プログラム「FOOD GOOD SMILE」 <投稿>廣江晃 理事長
- 週刊 山陰経済ウイークリー <執筆>廣江研 会長 6件 <登場>7件 ●その他 18件

## 新聞・ネット配信 全23件

- 日本海新聞(10件) ●山陰中央新報(2件) ●読売新聞(1件) ●日本経済新聞(1件)
- 高齢者住宅新聞(4件) ●福祉新聞(2件) ●シルバー新報(3件)

## テレビ・ラジオ 全11件

- ニュース 《ローソン“値引き”おにぎりで1円分寄付 食品ロス削減と社会福祉施設支援について》フジテレビ、日本テレビ、テレビ朝日「グッドモーニング」、毎日新聞デジタル <登場>廣江晃 理事長
- ニュース 《「ギネス世界記録®」に挑戦される米江龍星さんの記者会見・公開練習》NHK「いろどり」、山陰放送、山陰中央テレビ、中海テレビ放送 <登場>廣江晃 理事長
- 告知 《「いなば幸朋苑30周年記念式典・感謝祭」告知》BSS山陰放送ラジオ「ラフリー」内 <登場>石井陽介 施設長
- 取材 《『鳥取湖東地域包括支援センター』紹介》ケーブルテレビ「びよんびよんネット」内 市政広報番組「とっとり知らせたい!」 <登場>鳥取湖東地域包括支援センター
- 取材 《「境港市人口減少対策プロジェクト」に参加、1ターンの経験》中海テレビニュース コムコムスタジオ <登場>介護老人福祉施設さかい幸朋苑 森原翼 介護福祉士

## 書籍出版 全1件

《発達障害っ子の中学受験》KADOKAWA <執筆>錦海リハビリテーション病院 橋本圭司 副院長

# 地域への公益的な取り組み

Initiatives for the public interest in the region

「こうほうえん」の事業は、“地域との共生”や“地域との連携”を柱として行われています。地域公益事業や地域貢献活動について2025年度の実績を紹介します。

## 地域公益事業の実施(地域総合支援室の活動)

### ● 地域総合支援室の活動

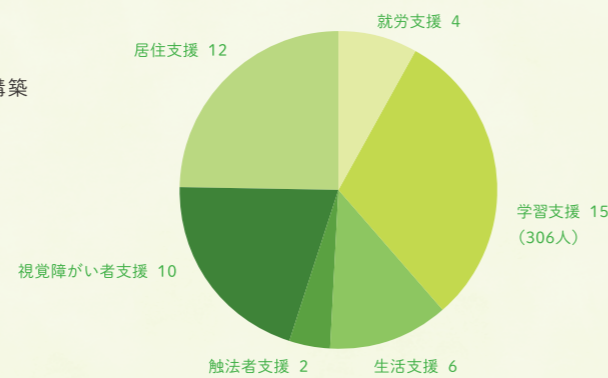
#### 01.総合相談事業 延21件

訪問支援(アウトリーチ)による伴走型支援と、重層的な支援ネットワークの構築

#### 02.総合支援事業 延49件

#### 03.外部団体とのネットワーク 9件

- ・鳥取県ライトハウス(視覚障がい者関係機関)
- ・鳥大医学部附属病院ロービジョン外来(視覚障がい者関係機関)
- ・労災病院ロービジョン外来(視覚障がい者関係機関)
- ・鳥取県居住支援協議会
- ・居住支援連携(社会福祉法人養和会)
- ・居住支援連携(社会福祉法人尚仁福祉会)
- ・米子市社会福祉法人連絡会
- ・米子市社会福祉法人連絡会役員会
- ・米子市居住支援協議会



【単位:千円】

		2024	2025	増減
収益	寄付金	2,797	3,633	836
	補助金	180	732	552
	他	1,080	2,808	1,728
	計	4,057	7,173	3,116
費用	事業費・事務費	4,387	7,362	2,975
	他	4,145	9,077	4,932
	計	8,532	16,439	7,907
サービス活動外増減差額		63	220	157
経常増減差額		-4,412	-9,046	-4,634

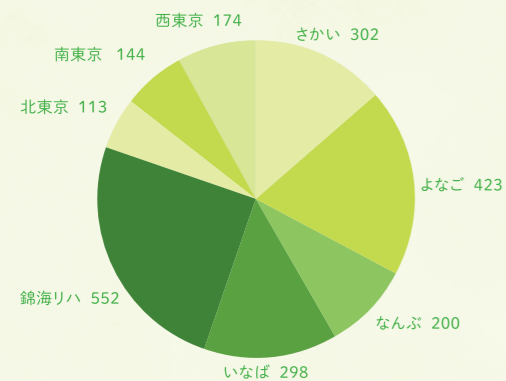
### ● 地域総合支援活動の収支

※今年度より、あいRIN分を合算

## 地域貢献活動 ⇒ 互惠互助の理念に基づいた活動

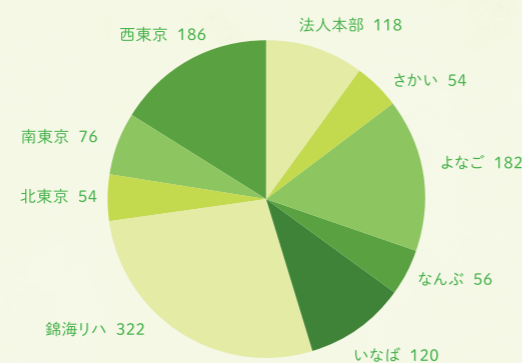
### ● 実習受け入れ実績(延人数)

2,206人(前年:2,187人)



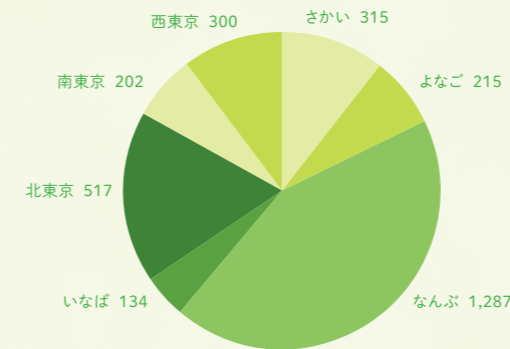
### ● 見学者受入実績(実人数)

1,168人(前年:1,342人)



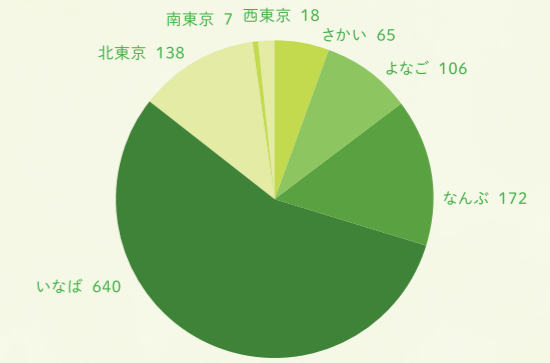
### ● ボランティア受け入れ実績(延人数)

2,970人(前年:1,387人)



### ● 職員によるボランティア等(延人数)

1,146人(前年:1,163人)



## 法人減免状況

### 社会福祉法人減免額

	延人数	減免額	補助金額	実質減免額
特別養護老人ホーム	11	1,423	30,849,887	12,282,165
在宅サービス	21	278	1,740,247	664,788
2025年度 計	32	1,701	32,590,134	12,946,953
2024年度 計	31	1,660	33,058,814	12,882,453

### 独自による取組の減免額(低所得者に対して食事代等の一部減免等)

	事業所数	減免額
2025年度	14	10,530,269
2024年度	14	10,808,270

### 無料低額診療による低所得者への減免額(介護老人保健施設、リハビリ病院、診療所)

	老健さかい	老健なんぶ	老健いなば	診療所悠々	錦海リハ病院	減免額合計
2025年度	2,935,271	2,163,442	3,661,121	97,470	1,923,720	10,781,024
2024年度	2,800,020	2,522,418	2,664,868	140,300	3,182,385	11,309,991

### 生活支援ハウス事業への補てん額

	さかい	よなご	なんぶ	いなば	補てん額合計
2025年度	4,199,176	4,648,465	8,825,008	9,850,031	27,522,680
2024年度	2,983,788	4,102,205	9,918,443	7,298,211	24,302,647

### 地域活動等への寄付及び支援⇒地域公益事業の補てん含む

2025年度	4,410,982
2024年度	4,114,107

## 集計

	減免額	補助金額	実質減免額
2025年度合計	85,835,089	12,946,953	72,888,136
2024年度合計	112,717,767	42,006,391	70,711,376

こうほうえんキャッチフレーズ

「地域にもっとお互いさまを! 社会福祉法人こうほうえん 地域共生社会の実現を目指します」

エリアにおける活動状況

# さかいエリア Sakai area

Sakai area



さかい幸朋苑  
Instagram



新さかい幸朋苑  
Instagram

**01** ヘルスケアタウン  
さかのみなと(境港市)  
鳥取県境港市誠道町2083  
TEL:0859-45-6781(代表)



ヘルスケアタウン  
さかのみなとHP



## 境港市がナマステホールを「指定避難所」に指定

さかい幸朋苑

『さかい幸朋苑ナマステホール』が、境港市の災害対策基本法に基づく指定避難所として指定されました。この指定は、さかい幸朋苑と境港市が締結している「災害時協力協定」に基づくもので、地域と共に歩む法人として、地域の皆様の安全確保に貢献するための取り組みです。隣接する旧誠道小学校が閉校し、解体された同校体育館に代わり、境港市と協定書を結びました。



災害時に地域の方の安全確保を担います

## e-スポーツで「地域コミュニティ」

新さかい幸朋苑

『新さかい幸朋苑デイサービス』で月1回(日曜)、「e-スポーツ倶楽部」を開始しました。「e-スポーツ倶楽部」は、境港総合技術高校(e-スポーツ部)に部活動の一環として協力していただいています。ご利用者と地域の子どもたち(小学生・中学生・高校生)と一緒に「太鼓の達人」や「卓上ゲーム」を楽しんでいます。リズムに合わせて太鼓を叩くことは、認知機能の維持・向上に繋がり、叩く動作は手や腕の運動になり運動機能の維持にも役立ちます。



生徒から叩き方を教わるご利用者

## 境港市「ストップ!人口減少プロジェクト」委員に任命される

さかい幸朋苑

境港市は、「ストップ!人口減少 目指せ!だれもが働きやすいまちプロジェクトチーム」を立ち上げました。移住アドバイザーとして鳥取県から委嘱を受けている森原 翼介護福祉士(さかい幸朋苑)が委員として任命されました。本プロジェクトは、これまでの人口減少対策や移住・定住促進、子育て支援などの施策が、特に若者や女性に対して効果的に機能しているかを検証します。



境港商工会議所をはじめ市内の事業所から選出された12名の委員で構成

## 秋祭りを6年ぶりに開催

さかい幸朋苑

地域との交流を深める場として毎年開催していた「秋祭り」。コロナ禍の収束に伴い行動制限が緩和され、6年ぶりに開催しました。開会に先立ち、職員による「こうほうえん大漁太鼓」で開幕。ボランティア表彰において、境港市内のこうほうえん事業所にて長年にわたりご支援いただいている個人・団体の皆さまへ、感謝状と記念品を贈呈しました。式典終了後のアトラクションでは、境港総合技術高等学校の生徒や地域の団体の方によるダンス・踊りが披露されました。



太鼓の音がホール内に響き渡る

## フィリピンから8人の特定技能を迎える

さかい幸朋苑

『さかい幸朋苑』は、「特定技能制度」によりフィリピンから8人のグローバル人材を受け入れました。介護業界でも人手不足が進む中、昨年は4人、今年は8人と積極的に外国人介護従事者を受け入れています。

(写真左から)シャイさん(さかい幸朋苑)、ジャイラさん(さかい幸朋苑)、クリアさん(みなと幸朋苑)、リンさん(さかい幸朋苑)、ロールさん(新さかい幸朋苑)、プロセミさん(みなと幸朋苑)、プリンセスさん(さかい幸朋苑)、イシさん(新さかい幸朋苑)



## 県福祉研究学会発表会で受賞

さかい幸朋苑

鳥取県福祉研究学会「第19回研究発表会」において学会奨励賞を受賞しました。ノーリフティング推進委員会が持ち上げない・抱え上げないケアを実践する「ノーリフティング」を宣言してから10年が経過しました。介護する側と受ける側のどちらにとっても安全で安心なケアを目指し日々、研鑽しています。

高齢者福祉(施設系)分野

テーマ:抱え上げない介護を目指した10年間 ~ノーリフティング推進委員会の軌跡~

発表者:介護老人福祉施設さかい幸朋苑/野坂賢一、介護老人福祉施設なんぶ幸朋苑/池田真大



野坂賢一さん

## 韓国から看護学科の学生ボランティアを受け入れ

さかい幸朋苑

日韓国看護学生交流会において、『江陵嶺東(カンヌンヨンドン)大学』看護学科学士のボランティアを受け入れました。ご利用者の皆さまも事前に韓国語を勉強し「アニョハセヨ」と笑顔で挨拶されました。看護学生は、ご利用者と韓国伝統絵を使った「カードマッチング」や「折り紙」など、アクティビティを通して交流を深めた後に施設を見学されました。



看護学生と職員が和気あいあいとした雰囲気写真に納まる

エリアにおける活動状況

# よなごエリア Yonago area

## 02 ヘルスケアタウンよなご(米子市)

鳥取県米子市上後藤3-7-1  
TEL:0859-30-0123(代表)



ヘルスケアタウン  
よなごHP



## 家庭と園をつなぐ行事活動の取り組み

キッズタウン第2保育園

年間を通して親子で楽しめる行事を実施しています。2025年度から夏まつりの内容を見直し、親子で一緒に参加できる形式へ変更しました。園内にシアター、手作り玩具の製作コーナー、手作り自動販売機のジュース屋さんなどを設け、自然と親子の会話が生まれる、笑顔あふれる行事となりました。運動会も従来通り、親子の触れ合いを大切に内容で実施しています。生活発表会では、管理栄養士による食育講演会を開催。給食やおやつへのこだわり、ブイヨンの作り方を紹介し、試食の機会も設けました。「子どもが食べているものを知ることができて良かった」「ブイヨンを作ってみよう」「丁寧に作ってくださっていることに感謝」などの声をいただき、園の食育への理解を深めていただく機会となりました。今後も行事を通して、子どもたちの成長や生活の様子を保護者の皆様に伝えていきたいと考えています。



食育講演会

## 開苑20周年記念「アザレアまつり」開催

アザレアコートこうほうえん

2025年4月26日、開苑20周年を記念した「アザレアまつり」を盛大に開催しました。春の日差しに恵まれ、地域の皆さまやご家族など多くの方にご来場いただき、にぎやかで温かい一日となりました。アトラクションでは、日野高校生による迫力ある「荒神神楽」が披露され、会場を魅了しました。また、隣接する『キッズタウンかみごとう』の園児たちによる元気いっぱい歌と踊りが、観客の笑顔を引き出しました。



屋台は大盛況



日野高校生による荒神神楽

屋台コーナーには、たい焼き・たこ焼き(山田商店)、洋菓子(パティスリーキキ)、和菓子(成谷湖月堂)、焼き菓子(あぶりこ)、さらにインドネシア料理(よなご幸朋苑職員)など多彩なグルメが並び、ご利用者・ご家族・地域の皆さまに大変好評でした。今後も地域とともに歩み、ご利用者さまが安心して豊かに暮らせる住まいを目指していきます。

Yonago area



## グローバル人材交流会の開催

こうほうえんには、フィリピン・ベトナム・インドネシア・中国出身の特定技能生が多数勤務しています。日本語や生活面で不安を抱えながら来日した職員に対し、学習支援研修の実施後、年間4回の交流会を開催しています。交流会では、研修だけでなく地域とのつながりや日本文化への理解を深める内容を取り入れています。これまでに「日本の手話を学ぶ」「着物の歴史を知る」「こうほうえん大漁太鼓と一緒に叩く」などを実施し、異文化理解と地域交流の場となっています。日本での生活に慣れ、地域の一員として安心して働けるよう、今後も継続して交流会を開催していきます。



みんなで記念撮影



春の交流会の様子

## 「住吉地区青色防犯パトロール協議会」への参加

よなご幸朋苑 後藤ヶ丘地域包括支援センター

『よなご幸朋苑』と『後藤ヶ丘地域包括支援センター』の職員は、2025年度より青色防犯パトロールに参加し、2人1組で年6回の安全パトロールを実施しています。この協議会では、小学校の下校時に防犯活動を行い、犯罪の未然防止を目的としています。米子警察署の講習を受け「パトロール実施者証」を取得した職員が、青色回転灯を設置した指定車両で地域内を巡回しています。見守り活動や声かけを通じて、不審者を遠ざけ、安全で安心なまちづくりに貢献していきます。



青パト活動



職員による捜索訓練の様子

## きりん組(年長児)親子谷川体験

キッズタウンかみごとう

2022年よりお泊まり保育に代わる体験型行事として、年長児親子による「谷川探検」を大山青年の家で実施しています。青年の家に集合した後、職員の誘導のもと阿弥陀川へ移動し、谷川へ降りて探検が始まります。水量は天候によって異なり、足首程度の年であれば、子どもが泳げるほどの水量になる年もあります。上流へ向かって岩場を進む中で、枝に群がるカミキリムシや水中生物に出会うこともあり、ふるさと大山の自然をダイナミックに体験できます。滑りやすい岩場での活動のため装備には十分な配慮が必要ですが、準備も含めて毎年楽しみにいただいています。大山を日常的に眺められる米子市という環境を活かし、今後も親子で自然を身近に感じられる体験活動に力を入れていきます。



親子谷川体験

エリアにおける活動状況

# なんぶエリア

Nanbu area

Nanbu area



なんぶ幸朋苑  
Instagram



キッズタウンさくら  
HP

## 03 ヘルスケアタウンよなごみなみ(米子市)

鳥取県米子市石井1238  
TEL:0859-26-5566(代表)



ヘルスケアタウン  
よなごみなみHP



## 米子市フレイル予防事業(チェック事業・予防教室)を推進

尚徳中学校地区を対象に、米子市と鳥取大学医学部の研究事業(フレイル予防巡回検診)など各事業に職員派遣を行っています。数年来住民とともにフレイル予防に取り組んできたこともあり、介護等認定率は市内で最も低く、モデル地域として予防事業を推進しました。各公民館で開催される、リモート運動体験にも参加。開催準備や運動中の参加者の見守りを行いながら、フレイル予防の啓発やフレイル予防アプリの登録支援などを継続的に実施しています。



永江公民館でのリモート運動体験

## 第29回なんぶ幸朋苑秋祭り

なんぶ幸朋苑

2025年10月11日、「なんぶ幸朋苑秋祭り」を開催しました。コーラスや日本舞踊、幸朋苑職員による大漁太鼓などの催し、消防団やボランティア、職員による屋台の提供など、賑やかな会となりました。コロナ禍で出来なかったご家族の参加が可能となり、ご利用者も大変喜ばれました。



職員による大漁太鼓

## 地域貢献事業の推進

みんなの居場所あいRIN

地域公益事業『みんなの居場所あいRIN』で、不登校児等の学習支援、地域食堂、居場所の提供、相談等の事業を始めて1年。地域にはなくてはならない場になっています。居場所には学校帰りの子どもたちがたくさん来て勉強したり、遊んだりします。地域食堂では1日20食の食事を提供し、毎日売っています。地域食堂では住民と子どもたちとの交流も図られています。また、ボランティアさんの協力もあり、本人の得意分野で活躍してもらっています。持続可能な事業運営のために、「レンタルスペース」として貸し出しをし、習字教室が始まりました。また「ちょこっとお手伝い」も始めて地域の高齢者の生活でちょっとした困り事に対応しています。今後も地域に喜ばれる取り組みをボランティアさんと一緒に考え、地域の中で活動をしていきます。



ボランティアさん



子ども達の居場所の提供

## 地域との交流

**デイハウスくずも** 地域交流の一環として、『キッズタウンさくら』にて交流会を行いました。『デイハウスくずも』から2名のご利用者が参加され、園児の歌声とダンスに笑顔で拍手を送られていました。ご利用者の方が作られた冬の飾り(モビール)をプレゼントし、心温まる素敵な交流となりました。



キッズタウンさくら交流会



デイハウスごせんごくの秋祭り

**デイハウスごせんごく** 「秋祭り」を開催。催し、売店、ワークショップなど、子どもから高齢者まで楽しめました。当日は地域の方々にも参加していただき、100名を超えるイベントとなりました。



奥谷レクリエーション

**グループホームなるみ** 奥谷の夏祭りに参加しました。焼きそば、たこ焼き、焼き肉、ビールなどを食べて飲んで地元の方と交流し、輪投げ大会で楽しみました。

## 事業所の取り組み

**デイハウスくずも** 毎年恒例の外出行事として、「とっとり花回廊」に出かけました。皆でフラワートレインに乗り、花の名前に詳しいご利用者の方に説明していただきながら、楽しいひと時を過ごしました。楽しかった記憶、一緒に行った思い出はいつまでも鮮やかに色あせないようです。また来年も一緒に行きましょう。



花回廊外出



開苑祭

**グループホームなるみ** 満開の桜の下、「開苑祭」を開催しました。職員によるトランペット演奏では、普段なかなか間近で見ることのない楽器に皆さまが釘付けのご様子でした。トランペットの力強くも優しい音色が響き渡り、自然と皆さまも歌を口ずさんでおられました。

**グループホームなるみ** 5月の終わりに『キッズタウンさくら』の園児さんたちと恒例のさつま芋の苗植えを行いました。この日は天気も良く、園児さんの元気な姿を見て、皆様笑顔になっていました。芋の出来が待ち遠しいです。



さつま芋の苗植え

## ユニット型特養の増床

介護老人福祉施設なんぶ幸朋苑

ユニット型ショートステイの定員減およびユニット型特養の増床と、地域密着型特養をユニット型特養への転換を実施しました。

<転換内容>介護老人福祉施設 なんぶ幸朋苑:120床 ●地域密着型ユニット型特養:24床⇒ユニット型特養31床 ●従来型特養:80床 ●ユニット型ショートステイ:16床⇒9床

転換理由は、①ショートステイ利用ニーズの低下(1日平均利用者数:9.1人/16床(2024年4月~12月))、②施設の地理的な位置は郡部が近いが、郡部の方は地域密着型特養を選択できなかったためです。転換した結果、①ショートステイ利用:1日平均利用者数:8.5人/9床(2025年6月~2026年3月)となり、平日の空床が減り、安定的な運用ができるようになっていきます。②特養申込者:米子市外からのユニット型特養希望者11件/20件(2025年6月~2026年3月)、現在米子市外からのユニット型特養入居者:1名(伯耆町)(2025年6月~)となり、実際に申込者の選択肢が増え、ユニット型特養の待機者が増えました。

# いなばエリア Inaba area

Inaba area



デイライフいきいき  
Instagram



デイライフほのぼの  
Instagram

## 04 ヘルスケアタウンとっとり(鳥取市)

鳥取県鳥取市浜坂228-1  
TEL:0857-23-6611(代表)



ヘルスケアタウン  
とっとりHP



## いなば幸朋苑30周年感謝祭

いなば幸朋苑

いなば幸朋苑は、2025年7月17日に開設30周年を迎えました。日頃のご愛顧への感謝を込め、7月24日に記念式典、7月25日に「30周年感謝祭」を開催しました。式典では、鳥取市長をはじめ、多くの方々にご臨席賜り、温かくお祝いしていただきました。また、初代いなば幸朋苑総合施設長の加藤一吉様を来賓としてお迎えし、お祝いのお言葉を頂戴しました。そのお言葉からは、30年の歴史と歩みを改めて感じることができました。さらに、浜坂保育園の園児の皆さんや、逢鷲太鼓連の皆様が、かわいらしい歌や踊り、迫力ある太鼓の演奏で式典を彩ってくださいました。2日目の感謝祭では、たくさんのフードコートや多彩なイベントをご用意し、500名を超える方々にお越しいただきました。会場は終日、笑顔と熱気に包まれ、大いににぎわいました。皆さまとともに過ごしたこの温かな時間は、何よりの宝物となりました。



城北ファミリーバンドの  
昭和歌謡等の吹奏楽演奏



## 浜坂地区における「地域食堂」の立上げ

地域食堂のなかった浜坂地区へ働きかけ、「中央人権福祉センター」、「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」、「鳥取市社会福祉協議会」の協力のもと、「地域食堂(まごころ食堂)」を立ち上げることができました。住民主体のボランティアの方を中心に江津公民館を拠点に年度内に3回開催することができました。回を重ねるごとにボランティアの方も増えていき、地域へ少しずつ浸透しているように感じています。2026年度は毎月開催を予定し、浜坂地区の様々な場所での開催を目指してサポートを行っていきます。



「まごころ食堂」開催の様子

## ICTを活用した連携強化

2024年度よりICT機器や「Google Workspace」を導入し、情報共有と業務効率化を推進しました。導入後の調査で最大の課題であった「担当者の所在・予定把握」が100%改善し、情報の二重入力等の事務負担も約70%軽減されるなど、顕著な成果が得られました。さらに、「Looker Studio」を用いたデータの可視化により、これまで感覚的だった「医療依存度が高い方の受け入れ先不足」や「事業所間の待機者の偏り」といった地域資源の課題が明確になりました。今後は蓄積されたデータを根拠とし、エリア全体の資源最適化や、医療体制の整備を伴う具体的な営業・経営戦略の立案に繋げていくことが目標です。



ICTを活用する職員

## ユマニチュード導入によるケアの実践

2024年度、こうほうえんでは「ユマニチュード導入三カ年計画」の初年度として、ユマニチュードの哲学への理解を深め、共通言語として現場に浸透させることを重点目標に掲げました。9月の導入研修を皮切りに、外部講師を招いた実践研修などを重ね、延べ127名の職員が参加。取り組みを通じて、「見る・話す・触れる・立つ」という4つの柱を意識したケアが現場に広がり、職員の意識変革という面において、当初の目標を概ね達成することができました。

2025年度は、この芽生えた実践を組織全体へさらに定着させ、ケアの質の向上につなげるため、新たに「ユマニチュード実践者委員会」を立ち上げました。本委員会は、入所施設や通所施設など、さまざまな事業所から選出された20名のメンバーで構成されています。事業所の垣根を越えて知見を共有し合うことで、法人全体におけるケアの標準化を目指します。具体的には、現場職員が主体となる検討会を定期的開催し、個別事例に基づいた具体的なアプローチ方法を協議するなど、より「実践」に重きを置いた活動を展開していきます。ユマニチュードの本質である「あなたは大切な存在である」というメッセージを、日々の関わりの中で丁寧に表現していきます。利用者様、ご家族、そして職員。法人を取り巻くすべての方々との相互の関係性(絆)を何より大切に育みながら、誰もが穏やかに、尊厳を持って過ごせるケアの実現に向けて邁進していきます。



講師を招いた研修会の様子

## 地域住民(鳥取北圏域)を対象とした

## 「きたカフェあきさと」の定期開催

鳥取北地域包括支援センター

「鳥取北地域包括支援センターを知ってもらおう!」という目標のもとスタートした「きたカフェあきさと」。2025年9月20日に北デイサービスセンターでオープンし、介護相談をはじめ、骨密度測定、eスポーツ、認知症タッチパネル体験など、毎月様々な催しを交えながら地域住民との交流を行いました。毎月、焼き立てパンや肉まん、たい焼き、パンケーキなどを用意し、参加者同士でカフェタイムを楽しまれていました。参加された近隣住民の方が、自ら所属する団体のメンバーとともに、翌月に演奏会を開催してくださったこともあり、地域のつながりが広がる場にもなりました。今後も、「地域包括支援センター」や「こうほうえん」を地域の方々により身近に感じていただき、「困ったときは包括に相談しよう」と思ってもらえるような活動を続けていきます。



きたカフェあきさと

## 地域のスーパーマーケットと連携した

## 「湖東包括カフェ」の定期開催

鳥取湖東地域包括支援センター

2024年度、『鳥取湖東地域包括支援センター』では、地域で「認知症高齢者等ご近所見守り応援団」に登録されている「サンマート湖山店」の協力のもと、出張相談会(健康・福祉なんでも相談会)を定期的実施しました。地域企業と連携し、健康・福祉に関する相談会や啓発活動を展開することで、地域住民の健康や福祉に対する関心が高まり、介護予防の推進にもつながっています。また、地域包括支援センターへの来所が難しい方や、相談先が分からない方、制度について不明点を抱えている方に対して、日常の買い物の機会に気軽に相談できる場を提供することで、「孤立・孤独」の防止にも寄与しています。さらに、啓発活動を通じて外出のきっかけづくりを促し、地域住民一人ひとりが健康への関心を高め、高齢になってもいきいきと暮らし続けられる地域づくりを目指しています。今後も、「地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される」こうほうえんを目指し、地域住民が抱える困りごとに対して、こうほうえんがその解決を支援していく関係づくりを継続していきます。



湖東包括カフェ

# 錦海リハビリテーション病院

Kinkai rehabilitation

## 05 錦海リハビリテーション病院(米子市)

鳥取県米子市錦海町3-4-5  
TEL:0859-34-2300



錦海リハビリテーション病院HP



## 「子どもの高次脳機能障害 相談窓口」を新設 ～見えにくい障害に、専門家が寄り添う～

2026年1月、病院内に「子どもの高次脳機能障害 相談窓口」を新設しました。脳外傷・脳炎・脳症・低酸素性脳症・脳血管障害などを経験した後、「覚える」「集中する」「感情をコントロールする」といった脳の高次な働きに困難が生じている子どもたちを、医師や専門職が連携して評価し、家庭生活や学校生活の支援へとつなげる窓口です。高次脳機能障害は、外見からはわかりにくい「怠けている」「性格の問題」と誤解されやすいことが大きな課題です。特に子どもの場合、成長とともに課題が顕在化することも多く、適切な支援が遅れると、学校生活や人間関係において二次的な問題が生じることも少なくありません。相談窓口では、リハビリテーション科医師をはじめとする専門職が、お子さんの状態を丁寧に評価します。その上で、保護者の方や学校の先生方とともに、その子の発達段階に応じた継続的な支援のあり方を一緒に考えていきます。

- 相談対象: 18歳未満のお子さん(および18歳を超える場合も相談可)
- 対象疾患: 脳外傷・脳炎・脳症・低酸素性脳症・脳血管障害等による後天性の高次脳機能障害
- 相談時間: 平日9:00～17:00(土日祝を除く)
- 問い合わせ: 錦海リハビリテーション病院(TEL:0859-34-2300)  
一人で悩まず、まずはお気軽にご連絡ください。



## 病院機能評価の認定を更新(3回目)

### ～山陰両県で唯一の高度・専門機能認定病院～

2025年10月3日付で、公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の認定を更新しました。3回目となる今回の更新では、「本体審査:機能種別 リハビリテーション病院3rdG:Ver.3.0」と「高度・専門機能:リハビリテーション(回復期)Ver.1.0」の2種類の認定を同時に取得しています。病院機能評価は、患者さんに質の高い医療を提供するために病院が備えているべき機能を、中立・公平な専門調査者チームが審査する仕組みです。認定を受けるためには、組織運営・患者中心の医療の推進・診療・ケアの質の確保・病院運営管理の適切さ・安全に関する取り組みなど、多岐にわたる評価項目をクリアする必要があります。なかでも「高度・専門機能 リハビリテーション(回復期)」は、本体審査よりもさらに高い水準で評価が行われる審査区分です。この高度・専門機能について、鳥取・島根の山陰両県で唯一の認定病院となりました。今回の認定更新は、長年にわたり積み上げてきたリハビリテーション医療の実績と、職員一人ひとりの日々の取り組みが評価されたものです。今後も継続的な改善活動を重ね、患者さんにより質の高いリハビリテーション医療を提供できるよう努めていきます。



## 『回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会 in 米子』 プレ講演会 第5弾・第6弾を開催

2026年2月6日(金)・7日(土)の2日間、米子コンベンションセンターBiG SHiPおよび米子市文化ホールにて開催された「回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会 in 米子」。大会長を角田賢病院長が務めたこの全国大会に向け、地域のリハビリテーション関係者を対象としたプレ講演会(全6回シリーズ)を開催してきました。

2025年度は以下の2回を実施しました。

- 第5弾(2025年5月16日)医療法人真正会霞ヶ関南病院 理事長 斉藤正身 先生  
演題:「地域包括ケアシステムからみた回復期リハビリテーション病棟の役割」
- 第6弾(2025年9月20日)医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 病院長 菅原英和 先生  
演題:「回復期リハビリテーション病棟の現在地と未来—成り立ちから課題、そして次のステージへ—」



第5弾: 斉藤正身先生の講演



第6弾: 菅原英和先生の講演

第6弾をもって全6回シリーズが盛会裏に完了しました。毎回多くの皆様にご参加いただき、米子大会に向けた機運の高まりを強く実感しました。2026年2月の本大会には全国から2000名を超える参加者が集い、「地域のなかの回復期 地域のための回復期」というテーマのもと、活発な議論が交わされました。米子という地の魅力を全国に発信する機会にもなりました。

## 「錦海リハビリテーション病院 採用サイト」を新設 ～充実したコンテンツで、錦海リハを「まるごと」伝える～

2026年1月、錦海リハビリテーション病院の公式採用(リクルート)サイトを新設・公開しました。「あなたの専門性が未来を拓く Team KINKAI」をキャッチコピーに、当院で働くことの魅力や職場環境を、これまで以上にわかりやすく発信しています。

新サイトでは「錦海リハを知る」「働く人を知る」「専門性と成長を知る」「働く環境を知る」の4つの柱を中心に構成されています。実際に働く医師・看護師・介護福祉士・言語聴覚士など各職種の職員へのインタビューや、複数の職種が一堂に語り合うクロストーク企画も掲載しており、職場のリアルな雰囲気を感じていただける内容となっています。また、データで見る錦海リハの特徴として、月平均残業時間2.3時間・有給休暇取得率65.5%など、働きやすさを裏付ける具体的な数値も公開しています。病院見学・インターンシップの応募フォームや採用応募フォームも整備し、就職を検討されている方が一歩を踏み出しやすい仕組みを整えました。回復期リハビリテーション専門病院として20年の歴史を持つ錦海リハビリテーション病院では、専門職としての成長を支えるキャリアパスや教育・研修制度も充実しています。この地で、患者さんの回復に向き合いたいと考えている方は、ぜひ採用サイトをご覧ください。

錦海リハビリテーション病院 採用サイト  
<https://www.kinkai-rehab.jp/recruit>



採用サイト トップページ



採用サイト クロストーク

エリアにおける活動状況

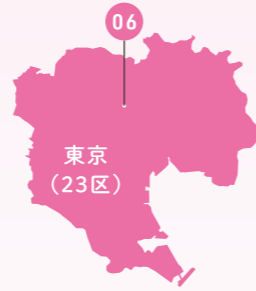
# 北東京エリア North Tokyo area

## 06 ヘルスケアタウンうきま(北区)

東京都北区浮間5-13-1  
TEL:03-5914-1331(代表)



ヘルスケアタウンうきまHPP



## 『うきま幸朋苑』の取り組み

**地域との連携** 他法人事業所と災害時応援協定を締結し、相互の防災訓練に参加しています。防災訓練では、地域の方にも参加いただき、消防署の協力のもと、煙体験や水消火などしていただきました。

**ご利用者の希望を叶えるための新たなサービス** 「最後まで安全に口から食べる」ことを目的に言語聴覚士を採用。誤嚥性肺炎による入院が激減しました。また、「足の爪が切れない、耳かきができない」を解消するために「爪切り及び耳かきコーディネーター」を誕生させました。予約制ですが、大変好評を得ており、難聴が改善した方もありました。

**自立支援を目的とした「5丁目カフェ」を開催** デイサービスご利用者が店員となり、ご利用者・ご家族・子どもたちを出迎え、注文から精算までを楽しまれました。今後は季節ごとに開催の予定です。

**社会貢献** 認知症カフェ「朋カフェ」を12月からプレオープンしました。また、献血車による献血活動を開催。介護だけでなく、保育・障害の職員の参加もありました。今後も継続していきます。

**職員の安全安心の為に** 医務室から毎月「健康便り」を発行。チームに1名のリフトリーダーを配置するために養成研修に参加しています。

**研究発表で受賞** 2026年3月に開催された「法人研究発表」において、4年連続で優秀賞を受賞しました。



避難訓練



朋カフェ

## 『ベーカリーカフェ ブレッド&バター』の取り組み

**大規模修繕で調理室を新設&厨房を拡大** 狭くて使いづらかった調理室を壊し、ガラス窓のついたカウンターのある調理室を新設しました。フレンズが頑張って調理パンを作っている様子がお客にもよく見え、たくさんの応援をいただくようになりました。調理室で作業できる人数も増え、作業もはかどるようになりました。また、厨房は調理室を壊した分だけ広くなったため、発酵機(ドウコンディショナー)を1台増やしました。3段オープンに買い替え、焼成温度の管理もスムーズになり快適です。修繕後はさらに売り上げが伸び、焼いたパンを乗せるラックも1台増やし、毎日忙しくパンを焼いています。

**大規模修繕中の活動** 修繕中は、施設外就労や内職の他、地域清掃などのボランティア活動をたくさんしました。ゴミを拾ってキレイにしていくと、ゴミが捨てられることがなくなり街全体がとてもキレイになってきました。フレンズがお世話になっているコンビニの草むしりをしたり、ゴミ拾いをしながら近所の方に挨拶をしたりとこの時期にしかできない地域との良い形の交流ができました。



新しくなった調理室



地域清掃

North Tokyo area



介護老人福祉施設  
うきま幸朋苑  
Instagram



キッズタウン  
うきま保育園/  
夜間保育園  
Instagram



ブレッド&  
バター  
Instagram



キッズタウン  
あとリエ  
Instagram



キッズタウン  
ぱれっと  
Instagram



キッズタウン  
東十条病後児  
保育室すずらん  
Instagram



岩淵保育園  
Instagram

## 子どもたちを育み、支える

**キッズタウンあとリエ** 子どもたちは一年を通して安心して過ごしながらそれぞれのペースで大きく成長し、3月には『あらかわ遊園』への卒所遠足を楽しみました。行事や日々の関わりを通して保護者同士のつながりも深まった一年となりました。

**キッズタウンうきま保育園・夜間保育園** 見守りカメラを全27台導入しました。見守りカメラを導入したことで、園児の怪我や病院受診の際に保護者への確実な説明ができ、保護者の安心、信頼関係の強化につながっています。また、ヒヤリハットの分析や振り返りにも利用することで、客観的な視点で再発防止策を立てられ、保育の質の向上にもつながっています。法人の研究発表では、見守りカメラを題材に研究をして、特別賞を受賞しました。

**キッズタウンうきま保育園・夜間保育園** 0・1・2歳児を対象に月に2回、リトミックを行っています。一時保育を利用していた保護者の方とご縁で、講師となっていただきました。最初は、保育者と一緒にピアノの音に合わせて手を叩いたり動いたりするだけでしたが、回数を重ねるごとにピアノの音の大小や曲調に合わせて自然と体を動かして楽しむようになってきました。音楽あそびを取り入れたことでリズム感や表現力が身に付き、子どもたちが穏やかで笑顔の時間が増えました。

**キッズタウンうきま夜間保育園** 日頃から、夜間園ならではの食育に力を入れており、夜桜を見たりお月見をしたりしながら夕食を食べる取り組みをしました。2025年度は、「とうきょうすくわくプログラム」を活用して、外部の食育機関と連携を取りました。屋上でさんまを焼いたり、秋鮭の解体ショーを見たりなど、家庭や保育園の中だけではできないような貴重な体験をすることができました。実際に食材に触れ、口に入れられるようになるまでの過程を知る経験から、子どもたちは今まで以上に食に興味をもつようになりました。法人研究発表で、この取り組みを発表し、奨励賞を受賞しました。

**キッズタウンぱれっと** 土曜日や長期休みなど、長時間療育が可能な日には、子どもたちがさまざまな体験をできるよう計画しています。クッキング、裁縫、実験、共同制作、外出など、将来の自立に向けた活動を取り入れています。中でも特に子どもたちに好評だったのが、近所のファミリーレストラン『ココス』でのおやつ体験です。500円という予算を設定し、その中で何を注文できるかを自分たちで考えます。事前に外出時のマナーやお金のやり取りについて学んだうえで、みんなで15分ほど歩いてココスへ向かいました。楽しみながら考え、選択し、経験することを通して、子どもたちの生活力や社会性の育ちにつながる貴重な機会となっています。

**岩淵保育園** 地域貢献の一環として、地域の皆様との交流および健康増進を目的に、月に1度ラジオ体操を実施しています。園児だけでなく、地域の方々にもご参加いただき、世代を超えたふれ合いの機会となっています。体操を通じて、心身のリフレッシュや生活リズムの向上にもつながっており、継続的な取り組みとして定着してきています。

**キッズタウン東十条保育園** 毎年、恒例となった「キッズフェスタ」を開催。子どもたちの作品を季節ごとに展示した作品展や保育士によるお楽しみ劇場、絵本の読み聞かせなど楽しい企画が盛りだくさん! JR東十条駅の職員の方々にもご協力いただき、駅長さんの制服を着て写真撮影したり、オリジナルの缶バッジを作ったりもしました。保護者の協力で、ハーブやスパイスをブレンドしたオリジナルソルトも自分達で作れ、どのコーナー也大盛況でした。



卒所遠足(あとリエ)



食育の取り組み  
(うきま夜間保育園)



体験型療育(ぱれっと)



ラジオ体操(岩淵保育園)



キッズフェスタ(東十条保育園)

エリアにおける活動状況

# 西東京エリア

West Tokyo area

West Tokyo area



ヘルスケアタウン  
むかいほら  
Instagram



ヘルスケアタウン下落合  
ショートステイ下落合  
Instagram



上石神井幸朋苑  
Instagram

**07** ヘルスケアタウン  
むかいほら(板橋区)  
東京都板橋区向原3-7-7  
TEL:03-5917-0753



ヘルスケアタウン  
むかいほらHP

**09** 上石神井幸朋苑  
(練馬区)  
東京都練馬区上石神井3-79-91  
TEL:03-5991-1331



上石神井  
幸朋苑HP

**08** ヘルスケアタウン  
下落合(新宿区)  
東京都新宿区下落合1-9-10  
TEL:03-3365-1333(代表)



ヘルスケアタウン  
下落合HP

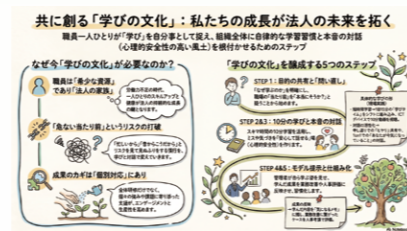


## 生産性向上の取り組み

介護・保育分野に生産性向上が高く求められる中で、生産性向上推進体制計画を策定し、年間を通して生産性向上=業務改善に取り組みました。特にAIに弱い職員が多い中で『株式会社ビーブレッド』の支援を軸に、職員提案制度の活用も取り入れて進めています。各事業所で多くの改善結果に結びついています。

## 「学びの文化」の醸成

「学びの文化」醸成をする仕組みづくりを年間通して徹底しています。ビジョンの共有、学びと実践のコース分け、学びの対話と承認を促進、管理者や役職者をモデルに設定、学びの成果を評価する流れとしています。互惠互助の読み合わせ、ユマニチュードの意見交換、その人らしさを大切にケアの意見交換、学びの素材の提供など、年間を通して進めています。



## ユマニチュードケア導入

ユマニチュードケア導入・4年間計画を策定し、具体的な取り組みを明確にしました。2月には『IGM-Japon』が主催するユマニチュード実践研修を12名が受講し、各事業所のユマニチュードケア推進員と位置付け、介護ケアにユマニチュードを取り入れていきます。

## 『ヘルスケアタウン下落合』の活動

1階と2階に保育園があり、3階にショートステイ、4階にデイハウスがあります。保育園では1年を通して季節ごとにイベントがあり、その都度ショートステイやデイハウスのご利用者も参加されています。子どもたちの元気な姿を見て、いつも以上に笑顔が多く見られ、昔を思い出して涙ぐまれるなど、子どもたちから多くの刺激を受けています。ご利用者からも「子どもは可愛くて元気をもらえるから大好き」と、とても親しまれています。ショートステイでは、天気の良い日には近くの公園へ散歩に行ったり、リビングで身体を使ったレクリエーションを行ったりと活気のある生活となるよう心がけています。デイハウスでは、毎年春になると近くの公園にお花見に行きます。一人暮らしの方やなかなか外に出る機会が少ない方にとっても、人気のある行事となっています。



世代間交流

## 『上石神井幸朋苑』の活動

『アカンサスホール』を地域住民に開放し、地域の方も参加できる春喫茶や夏祭りの開催、よろず相談の実施を継続し、地域の方から「私たちの施設」と親しまれる存在を目指しています。また、新たなファンづくりとして、「広報誌・かみしゃくだより」の毎月発行と、新たに公式Instagramを開発し、日々の施設での出来事や日々の様子、イベントの報告など、笑顔あふれる内容をお届けしています。ケアにおいては、専門性の向上と啓発活動、ユマニチュード研修の実施や、地域住民を対象とした「介護・福祉講座」の開催など、ケアの質の向上と地域への知識還元を両立させています。施設における看取りを重視し、ACP研修、意思決定の尊重(看取りへの取り組み)、ご本人・ご家族の意向確認、寄り添うケアを実践しています。



夏喫茶ポスター

## 『ヘルスケアタウンむかいほら』の活動

**かけはしまつり** 2025年は向原施設開設10周年記念のまつりとなりました。テーマは「繋がって元気に 感謝の10年!」。当日は、職員・外部事業所・ボランティア・ご来場くださった地域住民の方々、総勢600人が集う規模となりました。今年は外部ボランティアの方120名、地域就労支援事業所9事業所、地域の中学校の吹奏楽部や図書館等々の方々のご協力いただきました。地域に開かれたこうほうえんとしてのイメージが出来上がってきています。



かけはし喫茶

**かけはし喫茶** 公益的な取り組み活動の一環として、毎月1回「かけはし喫茶」を開催。地域の皆さま、サ高住にお住いの皆さま、保育園児、デイハウスのご利用者が『ヘルスケアタウンむかいほら』2階のウッドデッキを活用して、多世代交流会を行っています。幼児クラスが取り組んできた手話の成果を「かけはし喫茶」で披露。子どもたちが先生となって覚えてきた野菜や色の名前を手話で教える場面では、地域の方から「もっと知りたい」とリクエストをいただくなど、意欲に繋がる貴重な双方向の交流となりました。

## 保育の取り組み

**キッズタウンむかいほら保育園** 子どもたちが多様な価値観に触れ、思いやりの心を育む機会として多世代交流を積極的に推進しており、今年は「栽培・手話・スポーツ」の3つの豊かな関わりを築きました。日常的な交流としては、併設の介護事業所と連携し、年長児がご利用者と共にテラスでトマトやイチゴに毎日の水やりや成長の変化と一緒に体験し、世代を超えた自然な挨拶と温かなコミュニケーションが生まれました。地域交流の1つとして仕事や働く人への関心を深め、多様な仕事を知る機会として「職場見学」を大切にしており、今年度も板橋区に本社を置く『関東マツダ板橋本店』で4歳児クラスが貴重な体験をさせていただきました。板橋区の出前授業を活用し、子どもたちが自然の恵みや食への感謝を深めるプログラムを取り入れています。今年度も『NPO法人センスオブアース』のご協力のもと、年長児による一からの味噌作りに挑戦しました。



味噌作り(むかいほら保育園)

**キッズタウン下落合保育園** 年長は合奏活動に取り組んでいます。春は親しみやすい簡単な楽器から始め、子ども達の成長に合わせて少しずつ楽器の種類を増やし、様々な音に触れられるようにしています。友だちと音を重ねる楽しさを感じながら活動を重ね、毎月の誕生会では年長児から合奏をプレゼント。拍手喝采に包まれながら、喜びや自信に繋がっています。



合奏活動(下落合保育園)

エリアにおける活動状況

# 南東京エリア South Tokyo area

**10** ヘルスケアタウン  
にしおおい(品川区)  
東京都品川区西大井2-5-21  
TEL:03-5718-1331(代表)



ヘルスケアタウン  
にしおおいHP



キッズタウン  
にしおおいHP

**11** 地域密着型介護施設新砂・  
新砂保育園(江東区)  
東京都江東区新砂3-3-11  
TEL:03-5677-1331(代表)



地域密着型  
介護施設新砂HP



新砂保育園  
HP



South Tokyo area



ケアホーム  
西大井  
こうほうえん  
Instagram



新砂保育園  
Instagram



キッズタウン  
にしおおい  
Instagram

## 青空給食

キッズタウンにしおおい

3歳児クラスでは、子ども達の「食への興味を高める」ということを目的として、10月と3月に青空給食を実施しました。ご家庭からお弁当箱を持ってきていただき、保育園で給食を盛り付け、園庭にレジャーシートを敷いて食べました。3月は2回目ということもあり、ご飯を自分たちでおにぎりにすることもチャレンジしました。給食の時間を楽しみにする姿や、普段は苦手で食べられないものも食べてみようとする子どもたちの姿が見られました。



園庭での給食

## 口腔ケア

ケアホーム西大井

2015年以降ブロンズ・シルバー・ゴールドからなる口腔ケア段位制度を独自に創設。新人、グローバル職員(計5人)は今後挑戦ですが、その他の職員は段位取得をしています。ゴールドクラス挑戦の職員も口腔ケア実践から得た学びを3月の法人研究発表会にて報告いたしました。口腔アセスメント能力と日々の口腔ケア技術の向上を今後も図り、口腔内の異常の早期発見やその対応などを行っていきます。



口腔ケア段位認定証



法人研究発表会

## 地域貢献活動と公益的な取り組み

地域密着型介護施設新砂(『多機能ホーム新砂』『グループホーム新砂』『シルバステイ』)では、施設のお隣にある新砂三丁目アパートの自治会と連携し、アパートの集会所で8月開催された「作品展」へ、施設ご利用者が今回はじめて協力参加。自分たちの作品がこうほうえんコーナーとして展示されました。こうした近隣アパートの方々との交流機会を含め、毎月1回施設で主催している交流イベントなど、相互で行き来しながら地域貢献活動を積極的に進めています。

地域密着型介護施設新砂



展示コーナー



アパートの方々との交流

## ユマニチュードの取り組み

ケアホーム西大井

ユマニチュードシルバー認証取得へ向けて新たにスタートを切りました。3月15日にシルバー認証審査受審の申し込みを行い、2026年度の認証サーベイヤーの来苑を控えています。新体制でユマニチュード認証施設としての質を維持しつつ、さらに良いケアが提供できるよう研鑽しています。2回/月のユマニチュード研修を実施し、他の拠点から参加される仲間と学びを深めています。また、西大井から鳥取エリアへの推進委員派遣なども行い、法人全体での取り組みの一助となれるようさらに努力していきます。



イヴ・ジネストさん西大井来訪



鳥取エリアへ推進委員派遣

## すくわくプログラム活動

新砂保育園

子どもたちの「不思議だな」「きれいだな」という気持ちを大切にしながら、「光と影」「色」「鏡」をテーマに活動を行いました。アクリル積木やライトテーブルを使った遊びでは、光の当たり方によって色や物の見え方が変化する様子に気づき、試したり工夫したりする姿が見られました。また、手づくりのプラネタリウムや影絵劇の鑑賞を通して、光と影が作り出す世界に触れ、想像を膨らませながら楽しんでいました。



アクリル積木遊び



ライトテーブル遊び

## 「いきいき祭り」で地域の方々と交流

キッズタウンにしおおい・いきいきセンター

『キッズタウンにしおおい』では、『いきいきセンター』(老人福祉センター)で開催される10月「秋の演芸大会」と3月「春の演芸大会」に園児が参加しました。当日は、普段いきいきセンターに通われている大勢のご利用者の前で、日々の保育活動の中で実施している合唱や手遊び歌などを披露した子どもたち。緊張しながらも頑張る姿に、たくさんの拍手をもらって最後は笑顔が見られていました。



2歳児の合唱



4歳児の合唱

# 数字で見るこうほうえん

2025's KOHOEN  
By The Numbers

創立年  
**1986年**



「こうほうえん」は、医療法人養和会広江病院（現養和病院）の創立50周年の際、地域への恩返しとして1986年に設立されました。地域に愛され、地域に信頼される「こうほうえん」を目指し、2027年にはさかい幸朋苑の事業開始から40周年を迎えます。

職員数 **2,315名**

日本に約21,000ある社会福祉法人の中にあっても大規模な法人です。



事業所数  
**126事業所**

鳥取126東京

鳥取県と東京都で事業を展開。その事業所数は126に上ります。地域に根差した総合的なサービスを提供していることが法人としての強みです。



実施サービス数  
**220事業**

介護老人福祉施設をはじめ、サービス付き高齢者向け住宅や保育園からなる複合施設を展開。事業所で行うサービス数は220事業に上ります。介護のみならず、保育、障がい福祉サービス、リハビリテーション病院、レストランの運営など総合的なサービスを提供していることが法人の特徴です。

1番  
**全国初・業界初**

こうほうえんでは、新たな試みにも果敢に挑戦。全国初となる在宅支援センターの設置、老人保健施設とケアハウスの合築に取り組んだほか、都内初となる一般保育園と夜間保育園の合築も行いました。組織として進化し続けることを課した結果、「日本経営品質賞」\*、「ISO9001」取得、「ハイ・サービス日本300選」、「おもてなし経営企業選」に選定されるなど、業界初となる快挙も成し遂げています。2026年には昨年に引き続き「健康経営優良法人」の認証を取得しました。「日本経営品質賞」\* 2014年度日本経営品質賞大規模部門（鳥取地区/介護）受賞

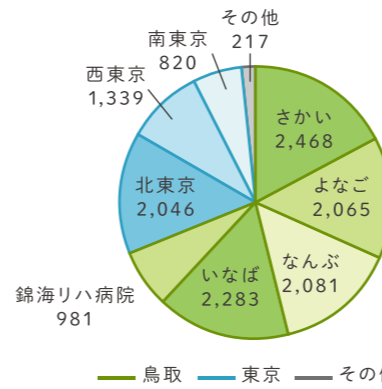
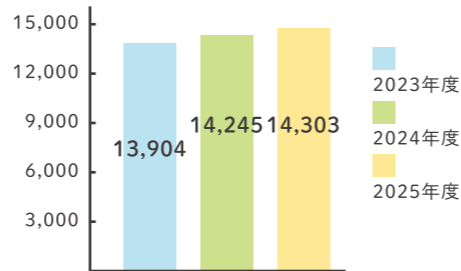


2025年度減免総額  
**85,835,089円**

「こうほうえん」は、独自の減免制度や低所得者に対する減免制度など社会福祉法人としての使命を果たしています。

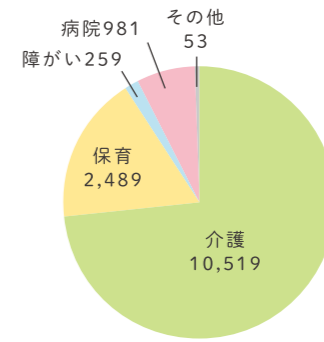
サービス活動収益  
(単位:百万円)

社会福祉法人における経営指標で、一般の会社の売上にあたるサービス活動収益は2025年度決算で143億円。安定的に上昇を続けています。



エリアごとのサービス活動収益  
(単位:百万円)

こうほうえん本部は鳥取県にありますが、サービス活動収益は、鳥取県70%、東京30%と東京での活動収益が大きくなりつつあります。



サービスごとのサービス活動収益  
(単位:百万円)

収益の約3/4は介護分野ですが、保育や障がいの分野において新たな事業所を開設するなど、社会のニーズに応じてサービスを拡大しています。

## 寄附のお願い

社会福祉法人こうほうえんでは、地域の皆様が安心して暮らせる社会の実現を目指し、日々運営をしております。弊法人では、弊法人が行う社会福祉事業（介護・医療・保育・障がい者支援・地域総合支援）の一層の充実のために、個人、法人など皆様からご寄附を受けております。お寄せいただいた寄附は財源の一部とし、老朽化した施設の改修やさらなる設備の充実、利用者へのサービス向上、また、地域社会全体の福祉向上に直接役立てさせていただきます。皆様からのあたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。

寄附は下記の方法にてお受けいたしております。

**1. 寄附申込書の記入方法について** (1)または(2)よりいずれかを選択

(1) URL、または二次元コードより <https://qr.paps.jp/onw9AO> 寄附申込書をダウンロードいただき必要事項を記入後、郵送またはご持参ください。宛先は下記の通りとなります。  
宛先: 〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1400 社会福祉法人こうほうえん 法人本部事務局 寄附担当宛

(2) 二次元コードより 寄附申込書(googleフォーム)の必要項目を記入し送信

**2. 振込みについて**  
山陰合同銀行 米子西支店(普通)口座番号3730494  
口座名義 フク)コウホウエン チイキコウケンジギョウ

**※税制優遇制度について**

- 個人の場合 寄付金が2,000円を超えた場合は、確定申告を行うことで税制上の優遇措置を受けることができます。
- 法人の場合 一般の寄付金控除額とは別枠で、法人税法上の損益参加ができます。

※詳細につきましては国税庁ホームページをご参照ください。

**3. 寄附サイトについて**  
URL、または二次元コードより <https://syncable.biz/associate/kohoen-hojinhonbu> 銀行振込の他、クレジットカードやAmazonPayでも寄付が可能です。

**4. お問い合わせ先**  
銀行振込の際は、ご本人様の確認がとれませんので、必ずお電話かメールでご連絡ください。

電話: 0859-24-3111  
E-mail: welfare@kohoen.jp

2025年度の皆様からの寄付金は、5,559,921円。主に以下の用途で活用させていただきました。

ご利用者の生活がより快適になるよう車いすの整備や設備機器の更新。子ども食堂・地域食堂、お祭りなどのイベント運営のための施設運営費として活用しました。また、学習支援、視覚障がい者支援、居住支援、触法者支援などの地域公益事業運営費として活用しました。

## 財務の状況

(2026年3月31日現在、単位:千円) financial situation

### 貸借対照表

借方		貸方	
流動資産	4,814,241	流動負債	2,436,336
基本財産	11,885,729	固定負債	1,507,859
その他固定資産	4,106,012	基本金	466,670
		国庫補助金等特別積立金	4,978,896
		その他の積立金	2,042,857
		次期繰越活動増減差額	9,373,363
		(内当期活動増減差額)	77,507
		純資産	16,861,786
計	20,805,982	計	20,805,982

### 資金収支計算書

借方		貸方	
事業活動支出	13,771,805	事業活動収入	14,444,224
設備整備等支出計	898,410	設備整備等収入	209,679
その他活動支出	517,224	その他の活動収入	399,941
当期資金収支差額	-133,595		
前期末支払資金残高	3,469,525		
当期末支払資金残高	3,335,930		
計	15,053,845	計	15,053,845

### 事業活動計算書

借方		貸方	
サービス活動費用	14,316,908	サービス活動収益	14,303,022
サービス活動外費用	63,336	サービス活動外収益	134,496
特別費用	104,351	特別収益	125,559
税引き前当期活動増減差額	78,482	(法人所得税)	975
前期繰越活動増減差額	9,403,115	その他の積立金取崩額	384,923
当期末繰越活動増減差額	9,480,622		
その他の積立金積立額	492,182		
次期繰越活動増減差額	9,373,363		
計	14,563,077	計	14,563,077

01



### ヘルスケアタウンさかいみなと(境港市)

鳥取県境港市誠道町2083 TEL:0859-45-6781(代表)

<さかい>介護老人福祉施設 さかい幸朋苑/介護老人保健施設 さかい幸朋苑/ケアハウス さかい幸朋苑/  
特定施設入所者生活介護 さかい幸朋苑/デイサービスセンター さかい幸朋苑/認知症対応型デイサービスセンター さかい幸朋苑/  
訪問介護事業所 さかい幸朋苑/訪問看護ステーション さかい幸朋苑/通所リハビリテーション事業所 さかい幸朋苑/  
訪問リハビリテーション事業所 さかい幸朋苑/ケアプランセンター さかい幸朋苑  
<せいでう>デイハウス せいでう/生活支援ハウス さかい幸朋苑 <わたり>デイハウス わたり/ビスターレ わたり  
<あがりみち>グループホーム あがりみち/デイハウス あがりみち <ひので>グループホーム ひので <新さかい>介護老人福祉施設 新さかい幸朋苑/  
短期入所生活介護事業所 新さかい幸朋苑/地域密着型介護老人福祉施設 みなと幸朋苑/グループホーム みなと/デイサービスセンター 新さかい幸朋苑

02



### ヘルスケアタウンよなご(米子市)

鳥取県米子市上後藤3-7-1 TEL:0859-30-0123(代表)

<よなご>介護老人福祉施設 よなご幸朋苑/短期入所生活介護事業所 よなご幸朋苑/介護老人福祉施設 きんかい幸朋苑/  
短期入所生活介護事業所 きんかい幸朋苑/生活支援ハウス よなご幸朋苑 <ケアハウス>ケアハウス よなご幸朋苑/米子市後藤ヶ丘地域包括支援センター/  
ケアプランセンター かわさき <かみごとう>グループホーム かみごとう <よねはら>デイハウス よねはら/デイサービスセンター 暖だん倶楽部  
<かわさき>デイサービスセンター かわさき/米子市加茂地域包括支援センター <アザレアコート>サービス付き高齢者向け住宅 アザレアコートこうほうえん/  
特定施設入所者生活介護 アザレアコートこうほうえん/デイサービスセンター アザレアコート/レストラン アザレアコート/訪問介護事業所 よなご幸朋苑  
<はたがさき>グループホーム はたがさき <よみ>福祉用具貸与事業所 幸朋苑/生きいきケアショップ 暖だん倶楽部  
<キッズタウン>認定こども園 キッズタウンかみごとう/キッズタウン第2保育園/キッズタウン子育て支援センター/キッズタウンからふる

03



### ヘルスケアタウンよなごみなみ(米子市)

鳥取県米子市石井1238 TEL:0859-26-5566(代表)

<なんぶ>介護老人福祉施設 なんぶ幸朋苑/ユニット型介護老人福祉施設 なんぶ幸朋苑/短期入所生活介護事業所 なんぶ幸朋苑/介護老人保健施設 なんぶ幸朋苑/  
ユニット型介護老人保健施設 なんぶ幸朋苑/ケアハウス なんぶ幸朋苑/特定施設入所者生活介護 なんぶ幸朋苑/生活支援ハウス なんぶ幸朋苑/  
訪問介護事業所 なんぶ幸朋苑/訪問看護ステーション なんぶ幸朋苑/通所リハビリテーション事業所 なんぶ幸朋苑/訪問リハビリテーション事業所 なんぶ幸朋苑/  
ケアプランセンター なんぶ幸朋苑 <なるみ>グループホーム なるみ  
<いしい>認知症対応型デイサービスセンター いしい <くずも>デイハウス くずも <ごせんごく>デイハウス ごせんごく/ビスターレ ごせんごく  
<ながえ>デイハウス ながえ/米子市尚徳地域包括支援センター/エンジョイりんRIN/ みんなの居場所あいRIN <さくら>認定こども園 キッズタウンさくら

04



### ヘルスケアタウンとっとり(鳥取市)

鳥取県鳥取市浜坂228-1 TEL:0857-23-6611(代表)

<いなば>介護老人保健施設 いなば幸朋苑/ユニット型介護老人保健施設 いなば幸朋苑/ケアハウス いなば幸朋苑/生活支援ハウス いなば幸朋苑/  
デライフ ゆうゆう/通所リハビリテーション事業所 いなば幸朋苑/介護老人福祉施設 新いなば幸朋苑/短期入所生活介護事業所 新いなば幸朋苑/  
特定施設入所者生活介護 新いなば幸朋苑/地域密着型特定施設入居者生活介護 新いなば幸朋苑/ケアプランセンター いなば幸朋苑  
<はまさか>グループホーム はまさか <にしまち>介護老人福祉施設 にしまち幸朋苑/短期入所生活介護 にしまち幸朋苑/通所リハビリテーション にしまち幸朋苑/  
訪問看護ステーション にしまち幸朋苑/訪問リハビリテーション事業所 にしまち幸朋苑/にしまち診療所 悠々/ ことばとこころの支援室にしまち  
<じゅんぶう>デイハウス じゅんぶう <鳥取市北>デライフ いきいき/デライフ ほのぼの/訪問介護事業所 鳥取北/鳥取北地域包括支援センター  
<湖東>鳥取湖東地域包括支援センター

05



### 錦海リハビリテーション病院(米子市)

鳥取県米子市錦海町3-4-5 TEL:0859-34-2300  
<錦海リハビリテーション病院>  
錦海リハビリテーション病院/  
錦海リハビリテーション病院(訪問リハビリ)/  
通所リハビリテーション きんかい

06



### ヘルスケアタウンうきま(北区)

東京都北区浮間5-13-1 TEL:03-5914-1331(代表)  
<ヘルスケアタウンうきま>介護老人福祉施設 うきま幸朋苑/  
ユニット型短期入所生活介護 うきま幸朋苑/  
通所介護事業所 うきま幸朋苑/就労支援ブレッド&バター/  
キッズタウンうきま保育園/キッズタウンうきま夜間保育園/  
キッズタウンばれっと <東十条>キッズタウン 東十条保育園/  
キッズタウンあとえ <岩淵>岩淵保育園(東京都北区指定管理)

07



### ヘルスケアタウンむかいほら(板橋区)

東京都板橋区向原3-7-7 TEL:03-5917-0753  
<ヘルスケアタウンむかいほら>  
サービス付き高齢者向け住宅 コーシャハイム向原/  
デイハウス むかいほら/訪問介護事業所 むかいほら/  
キッズタウン むかいほら保育園

08



### ヘルスケアタウン下落合(新宿区)

東京都新宿区下落合1-9-10 TEL:03-3365-1333(代表)  
<ヘルスケアタウン下落合>  
デイハウス 下落合/ショートステイ 下落合幸朋苑/  
キッズタウン 下落合保育園

09



### 上石神井幸朋苑(練馬区)

東京都練馬区上石神井3-79-91  
TEL:03-5991-1331  
<上石神井幸朋苑>  
特別養護老人ホーム 上石神井幸朋苑/  
ショートステイ 上石神井幸朋苑

10



### ヘルスケアタウンにしおおい(品川区)

東京都品川区西大井2-5-21 TEL:03-5718-1331(代表)  
<ヘルスケアタウンにしおおい>  
ケアホーム 西大井こうほうえん/西大井いきいきセンター/  
キッズタウン にしおおい

11



### 地域密着型介護施設・新砂保育園(江東区)

東京都江東区新砂3-3-11 TEL:03-5677-1331(代表)  
<地域密着型介護施設・新砂保育園>  
グループホーム 新砂(江東区指定管理)/  
多機能ホーム 新砂(江東区指定管理)/  
シルバーステイ(江東区指定管理)/  
江東区新砂保育園(江東区指定管理)

